

# 下水道工事用施工管理基準

平成 2 1 年 6 月

滋賀県琵琶湖環境部



## 目 次

・ 下水道工専用施工管理基準	1
・ 出来形管理基準及び規格値	3
管きょ工（開削）	4
管路土工	4
管布設工	4
管基礎工	5
水路築造工	6
管路土留工	7
管きょ工（小口径推進）	7
小口径推進工	7
立坑内管布設工	8
管きょ工（推進）	8
推進工	8
立坑内管布設工	9
管きょ工（シールド）	9
一次覆工	9
二次覆工	9
マンホール工	10
標準マンホール工	10
組立マンホール工	11
小型マンホール工	11
組立・小型マンホール工	11
特殊マンホール工	12
躯体工	12
伏せ越し室・雨水吐室工	12
伏せ越し管工	12
越流堰（雨水吐室）	13
中継ポンプ施設	13
取付管及びます工	13
ます設置工	13
取付管布設工	13
付帯工	14
舗装復旧工	14

道路付属物復旧工	14
立坑工	15
土留工	15
ライナープレート式土留工及び土工	16
鋼製ケーシング式土留工及び土工	17
<b>品質管理基準及び規格値</b>	<b>18</b>
管布設工	19
小口径推進工	21
推進工	23
一次覆工	25
二次覆工	26
マンホール設置工	27
ます設置工	30
薬液注入工	31
管路土工	31
基礎工	32
道路土工	32
管防護及び埋戻工	33
下層路盤	33
上層路盤	34
アスファルト舗装	34
立坑工	36
<b>写真管理基準</b>	<b>37</b>
<b>撮影箇所一覧表</b>	<b>38</b>
<b>出来形管理写真撮影箇所一覧表</b>	<b>40</b>
管きょ工（開削）	40
管路土工	40
管布設工	40
管基礎工	40
水路築造工	41
管路土留工	42
管きょ工（小口径推進）	42
小口径推進工	42
立坑内管布設工	42

管きょ工（推進）	42
推進工	42
立坑内管布設工	42
管きょ工（シールド）	43
一次覆工	43
二次覆工	43
マンホール工	43
標準マンホール工	43
組立マンホール工	43
小型マンホール工	44
組立・小型マンホール工	44
特殊マンホール工	44
躯体工	44
伏せ越し室・雨水吐室工	44
伏せ越し管工	44
越流堰（雨水吐室）	44
中継ポンプ施設	45
取付管及びます工	45
ます設置工	45
取付管布設工	45
付帯工	45
舗装復旧工	45
立坑工	46
土留工	46
ライナープレート式土留工及び土工	47
鋼製ケーシング式土留工及び土工	47

**品質管理写真撮影箇所一覧表** . . . . . 49

管布設工	49
小口径推進工	49
推進工	50
一次覆工	51
二次覆工	51
マンホール設置工	52
ます設置工	53
薬液注入工	53

管路土工	54
管路土留工	54
立坑工	54
立坑土工	54

**施工状況写真撮影箇所一覧表** . . . . . 55

管路土工	55
管布設工	55
管基礎工	56
管路土留工	56
小口径推進工	56
推進工	57
一次覆工	58
二次覆工	58
標準マンホール工	59
組立マンホール工	59
小型マンホール工	59
特殊マンホール工	60
取付管及びます工	60
舗装復旧工	60
立坑工	61
立坑土工	61
仮設工	62

**出来形成果表** . . . . . 63

・硬質塩化ビニル管布設日常管理表	64
・リブ付硬質塩化ビニル管布設日常管理表	66
・開削土工出来形成果表	68
・推進工法出来形成果表	70
・小口径推進出来形成果表	71
・空伏工出来形成果表	72
・管渠及びマンホール出来形成果表	73
・一次覆工出来形成果表	74
・二次覆工出来形成果表	76
・FRPM二次覆工出来形成果表	79
・標準マンホール出来形成果表	81

・ 組立マンホール出来形成果表	82
・ 汚水ます及び取付管出来形成果表	85
・ 鋼矢板立坑出来形成果表	87
・ ライナープレート式立坑出来形成果表	90
・ 鋼製ケーシング式立坑出来形成果表	93
・ <b>施工管理資料</b>	95
・ 工事材料品質証明書類一覧	96
・ 日本下水道協会認定工場製品添付書類一覧	101
・ 施工計画書記載事項一覧	102
・ 検査書類一覧	103
・ 数量総括表	106
・ 資材入荷集計表	107
・ 資材検収表	108
・ 薬液注入工施工管理資料	109
・ ウェルポイント運転日報	114
・ <b>その他資料</b>	115
・ 日本下水道協会認定工場製品等一覧	116

## ．下水道工専用施工管理基準

この下水道工専用施工管理基準（以下「管理基準」という。）は、一般土木工事等共通仕様書（平成 16 年 12 月 滋賀県）第 1 編 1 - 1 - 29「施工管理」および下水道工事共通仕様書（平成 21 年 4 月 滋賀県琵琶湖環境部）に規定する下水道工事の施工管理および規格値の基準を定めたものである。

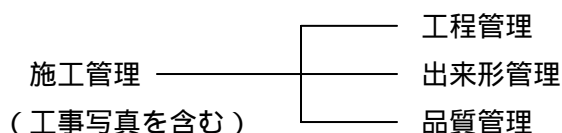
### 1．目的

この管理基準は、下水道工事の施工について、契約図書に定められた工期、工事目的物の出来形および品質の確保を図ることを目的とする。

### 2．適用

この管理基準は、滋賀県琵琶湖環境部が発注する下水道工事について適用する。ただし、設計図書に明示されていない仮設構造物等は除くものとする。また、工事の種類、規模、施工条件等により、この基準によりがたい場合、または、基準が定められていない工種については、土木工事施工管理基準及び規格値（案）（平成21年4月 近畿地方整備局）によるほか、別途監督職員と協議のうえ、施工管理を行うものとする。

### 3．構成



### 4．管理の実施

- (1) 請負人は、工事施工前に、施工管理計画および施工管理担当者を定めなければならない。
- (2) 施工管理担当者は、当該工事の施工内容を把握し、別添「施工管理資料」を参考に、適切な施工管理を行わなければならない。
- (3) 請負人は、測定（試験）等を工事の実施と並行して、管理の目的が達せられるよう速やかに実施しなければならない。
- (4) 請負人は、測定（試験）等の結果をその都度逐次管理図表等に記録し、適切な管理のもとに保管し、監督職員の請求に対し直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

### 5．管理項目および方法



(1) 工程管理

請負人は、工事に応じた方式（ネットワーク方式（PERT）またはバーチャート方式など）により作成した実施工程表により工程管理を行わなければならない。

(2) 出来形管理（ ．出来形管理基準および規格値参照）

請負人は、出来形を出来形管理基準に定める測定項目および測定基準により実測し、設計値と実測値を対比して記録した出来形成果表または出来形図を作成し管理するものとする。なお、出来形成果表は別添「出来形成果表」を標準とする。

(3) 品質管理（ ．品質管理基準および規格値参照）

請負人は、品質を品質管理基準に定める試験項目、試験方法および試験基準により管理し、その管理内容に応じて、工程能力図または品質管理図表（ヒストグラム、 $x - R$ 、 $x - R_s - R_m$  など）を作成するものとする。

## 6．規格値

請負人は、出来形管理基準および品質管理基準により測定した各実測（試験・検査・計測）値は、すべて規格値を満足しなければならない。

## 7．工事写真

請負人は、施工管理の手段として、各工事の施工段階および工事完成後明視できない箇所の施工状況、出来形寸法、品質管理状況、工事中の災害写真等を別添「写真管理基準」により、工事写真を撮影し、適切な管理のもとに保管に、監督職員の請求に対し直ちに提示するとともに、検査時に提出しなければならない。

## 8．その他

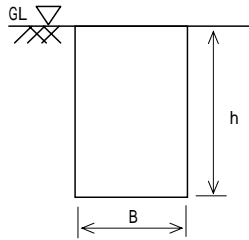
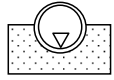
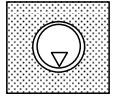
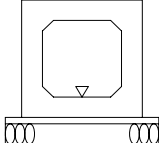
この管理基準の構成は次のとおりとする。

- ・ 出来形管理基準及び規格値
- ・ 品質管理基準及び規格値
- ・ 写真管理基準
- ・ 出来形成果表
- ・ 施工管理資料

## **・出来形管理基準及び規格値**

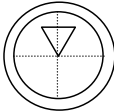
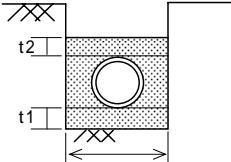
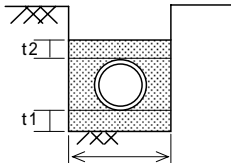
出来形管理基準及び規格値

単位：mm

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 管路	3 管きょ工（開削）	3 管路土工		管路掘削	深 さ h	±30	マンホール間ごとに1箇所測定する。		出来形成果表を作成する。
					幅 B	±50			
1 管路	3 管きょ工（開削）	4 管布設工	1	管布設 （自然流下管）	基 準 高	±30	基準高、中心線の変位（水平）は、マンホール間の両端部を測定する。	 	出来形成果表を作成する。 管布設日常管理表を管1本ごとに作成する。
					中心線の変位 （水平）	±50			
					勾 配	±20%			
					延 長	±200			
					総 延 長 L	-200			
1 管路	3 管きょ工（開削）	4 管布設工	2	矩形渠 （プレキャスト）	基 準 高	±30	基準高、中心線の変位（水平）は、施工延長20mに1箇所の割合で測定する。		出来形成果表を作成する。
					中心線の変位 （水平）	±50			
					勾 配	±20%			
					延 長	±200			
					総 延 長 L	-200			

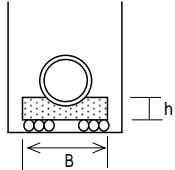
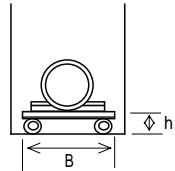
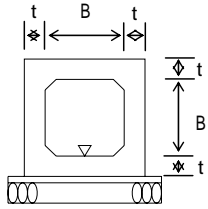
出来形管理基準及び規格値

単位：mm

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
1 管路	3 管きょ工(開削)	4 管布設工	3	圧送管	基準高	±30	施工延長40mに1箇所の割合で測定する。		出来形成果表を作成する。
					中心線の変位(水平)	±50			
					総延長L	-200			
1 管路	3 管きょ工(開削)	5 管基礎工	1	砂防護・砂基礎	砂基礎厚 t1	-30	各マンホール間の中央部を測定する。		出来形成果表を作成する。
					砂基礎幅 B	-50			
					管防護砂厚 t2	-30			
1 管路	3 管きょ工(開削)	5 管基礎工	2	砕石防護・砕石基礎	砕石基礎厚 t1	-30	各マンホール間の中央部を測定する。		出来形成果表を作成する。
					砕石基礎幅 B	-50			
					管防護砕石厚 t2	-30			

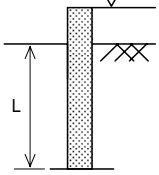
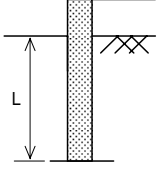
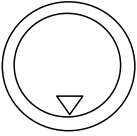
出来形管理基準及び規格値

単位：mm

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 管路	3 管きょ工（開削）	5 管基礎工	3	コンクリート基礎	幅 B	-30	各マンホール間の中央部を測定する。		
					厚 さ h	-30			
1 管路	3 管きょ工（開削）	5 管基礎工	4	はしご胴木基礎	幅 B	-30	各マンホール間の中央部を測定する。		
					厚 さ h	-30			
1 管路	3 管きょ工（開削）	6 水路築造工		現場打水路	基 準 高	±30	基準高、中心線の変位（水平）、幅、高さ、厚さは、1打設長ごとに両端部を測定する。1打設長が20m以上の場合は、20mに1箇所の割合で測定する。		出来形成果表を作成する。
					中心線の変位（水平）	±50			
					幅 b	-30			
					高 さ h	±30			
					厚 さ t	-20			
					勾 配	±20%			
					延 長	±200			
					総 延 長 L	-200			

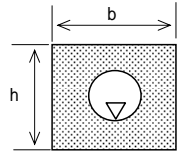
出来形管理基準及び規格値

単位：mm

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 管路	3 管きょ工(開削)	7 管路土留工	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	基 準 高	±100	1スパンごとに測定する。		任意仮設は除く。
					根 入 長 L	設計値以上			
1 管路	3 管きょ工(開削)	7 管路土留工	2	土留・仮締切工 (軽量鋼矢板) (木矢板)	根 入 長 L	設計値以上	1スパンごとに測定する。		任意仮設は除く。
1 管路	4 管きょ工(小口径推進)	3 小口径推進工		小口径推進工	基 準 高	±50	基準高はマンホール間の両端部を測定する。		出来形成果表を作成する。 推進管割付の出来形図を作成する。
					中 心 線 の 変 位 ( 水 平 )	±50	中心線の変位(水平)は推進管1本ごとに測定する。		
					勾 配	±20%			
					延 長	±200	延長はマンホール間を測定する。		
					総 延 長 L	-200			

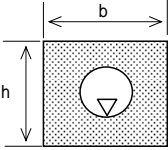
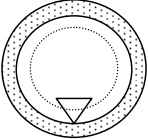
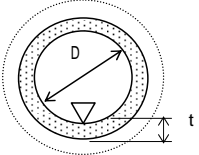
出来形管理基準及び規格値

単位：mm

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 管路	4 管きよ工（小口径推進）	4 立坑内管布設工		空伏工	基 準 高	±50	全数測定する。		出来形成果表を作成する。
					幅 b	-30			
					高 さ h	-30			
					中 心 の ず れ	±50			
					延 長	-50			
					勾 配	±20%			
1 管路	5 管きよ工（推進）	3 推進工		推進工	基 準 高	±50	基準高、中心線の変位（水平）は推進管1本ごとに測定する。		出来形成果表を作成する。 推進管割付の出来形図を作成する。
					中 心 線 の 変 位 （ 水 平 ）	±50			
					勾 配	±20%			
					延 長	±200	延長 はマンホール間を測定する。		
					総 延 長 L	-200			

出来形管理基準及び規格値

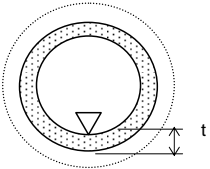
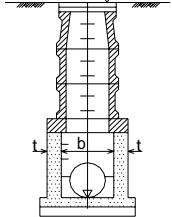
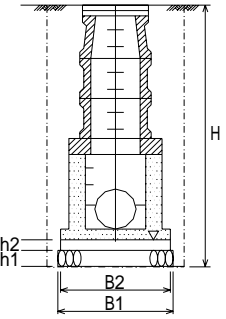
単位：mm

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
1 管路	5 管きよ工（推進）	4 立坑内管布設工		空伏工	基 準 高	±50	全数測定する。		出来形成果表を作成する。	
					幅 b	-30				
					高 さ h	-30				
					中 心 の ず れ	±50				
					延 長	-50				
					勾 配	±20%				
1 管路	6 管きよ工（シールド）	3 一次覆工		一次覆工	基 準 高	±50	基準高、中心線の変位（水平）はセグメント10リングにつき1箇所測定する。		出来形成果表を作成する。	
					中心線の変位（水平）	±100				
					延 長	±200				延長 はマンホール間を測定する。
					総延長 L	-200				
1 管路	6 管きよ工（シールド）	4 二次覆工	1	二次覆工（覆工コンクリート）	基 準 高	±20	基準高、仕上り内径は1打設につき端面で1箇所、および設計測点ごとに測定する。		出来形成果表を作成する。	
					仕上り内径 D	±20				
					二 次 覆 工 厚 t	±20	二次覆工厚は二次覆工実施計画における厚さとし、1打設につき端面で上下左右4点を測定する。			
					勾 配	±20%				
					延 長	±200	延長 はマンホール間を測定する。			
					総延長 L	-200				



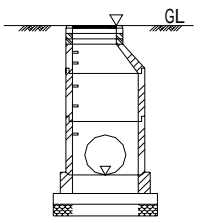
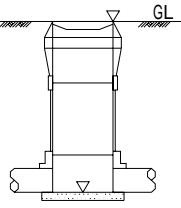
出来形管理基準及び規格値

単位：mm

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 管路	6 管きよ工 (シールド)	4 二次覆工	2	二次覆工 (強化プラスチック 複合管)	基 準 高	±20	FRPM管1本ごと、および設計測点ごとに測定する。		出来形成果表を作成する。
					二 次 覆 工 厚 t	±20	二次覆工実施計画における厚さとし、中込材注入前にFRPM管5本設置ごとに端面で上下左右4点を測定する。		
					た わ み 率	±5%	施工延長50mに1箇所割合で、管据付時および中込材注入後に定尺管の中央部を測定する。		
					継 手 隙 間	FRPM管によるシールド二次覆工技術マニュアル(財)下水道新技術推進機構)による	FRPM管1本設置ごとに端面で上下左右4点を測定する。		
					延 長	±200	延長 はマンホール間を測定する。		
					総 延 長 L	-200			
1 管路	7 マンホール工	3 標準マンホール工	1	標準マンホール工	基 準 高		全数測定する。		出来形成果表を作成する。 は当該管布設工法の規格値による。
					幅 b (内法)	-30			
					壁 厚 t	-20			
					人 孔 天 端 高	±30			
1 管路	7 マンホール工	3 標準マンホール工	2	標準マンホール基礎工	基 準 高	±30	全数測定する。		出来形成果表を作成する。
					床 堀 深 H	±30			
					基 礎 工 幅 B1	-50			
					基 礎 工 高 h1	-30			
					コ ン クリ ー ト 工 幅 B2	-30			
					コ ン クリ ー ト 工 高 h2	-10			

出来形管理基準及び規格値

単位：mm

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 管路	7 マン ホール 工	4 組 立 マン ホール 工		組立マンホール工	基 準 高		全数測定する。		出来形成果表を作成する。 は当該管 布設工法の 基準高の規 格値による。
					人 孔 天 端 高	± 30			
1 管路	7 マン ホール 工	5 小 型 マン ホール 工		小型マンホール工	基 準 高		全数測定する。		出来形成果表を作成する。 は当該管 布設工法の 基準高の規 格値による。
					人 孔 天 端 高	± 30			
1 管路	7 マン ホール 工	4・5 組 立・小 型 マン ホール 工		組立・小型 マンホール基礎工	床 堀 深 H	± 30	全数測定する。		出来形成果表を作成する。
					敷モルタル幅 b	-50			
					敷モルタル高 h	-0			

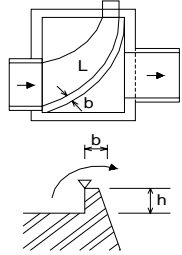
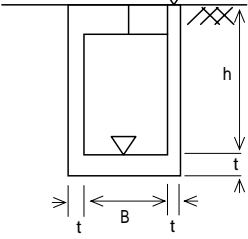
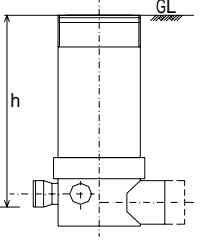
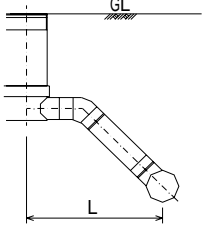
出来形管理基準及び規格値

単位：mm

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 管路	8 特殊マンホール工	4 躯体工		現場打ち特殊人孔	基 準 高		全数測定する。		出来形成果表を作成する。 は当該管 布設工法の 基準高の規 格値によ る。
					幅 B ( 内 法 )	-30			
					高さ h ( 内 法 )	±30			
					壁 厚 t	-20			
					人 孔 天 端 高	±30			
1 管路	8 特殊マンホール工	伏せ越し室・雨水吐室工		伏せ越し室・雨水吐室	基 準 高	±30	全数測定する。		出来形成果表を作成する。
					幅 b ( 内 法 )	±30			
					高さ h ( 内 法 )	±30			
					厚 さ t	-20			
1 管路	8 特殊マンホール工	伏せ越し管工		伏せ越し管	基 準 高	±30	全数測定する。		
					中心線の変位	±30			

出来形管理基準及び規格値

単位：mm

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 管路	8 特殊マンホール工	越流堰 (雨水吐室)		越流堰(雨水吐室)	基準高	±10	中央部および両端部を測定する。 幅、高さ、延長は全数測定する。		
					幅 b (厚さ)	±20			
					高さ h (深さ)	±30			
					延長 L (長さ)	-20			
1 管路	8 特殊マンホール工			中継ポンプ施設	基準高	±30	全数測定する。		
					幅、長さ B	-30			
					深さ h	-30			
					壁厚 t	-20			
1 管路	9 取付管及びます工	4 ます設置工		汚水ます	ます深 h	-30	全数測定する。		出来形成果表を作成する。
1 管路	9 取付管及びます工	5 取付管布設工		取付管	延長 L	-200	全数測定する。		出来形成果表を作成する。
					掘削幅	±50			
					砂基礎厚	-30			
					防護砂厚	-30			

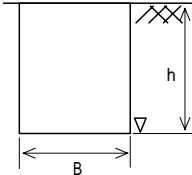
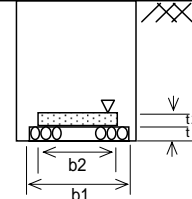
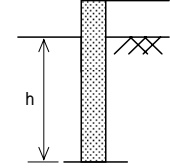
出来形管理基準及び規格値

単位：mm

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 管路	11 付帯工	5 舗装復旧工	1	舗装復旧工 (下層路盤工)	厚 さ	-45	マンホール間ごとに1箇所測定する。		下水道工事 の仮復旧に 適用する。 出来形成果 表を作成す る。
					幅	-50			
1 管路	11 付帯工	5 舗装復旧工	2	舗装復旧工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ	-25	マンホール間ごとに1箇所測定する。		下水道工事 の仮復旧に 適用する。 出来形成果 表を作成す る。
					幅	-50			
1 管路	11 付帯工	5 舗装復旧工	3	舗装復旧工 (表層工)	厚 さ	-7	マンホール間ごとに1箇所測定する。		下水道工事 の仮復旧に 適用する。 出来形成果 表を作成す る。
					幅	-25			
1 管路	11 付帯工	7 道路付 属物復旧工		道路付属物復旧工 (区画線工)	延 長	-200			下水道工事 の仮復旧に 適用する。

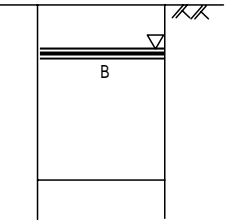
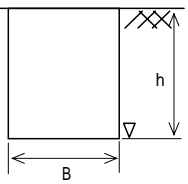
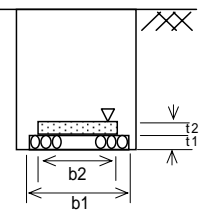
出来形管理基準及び規格値

単位：mm

章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
1 管路	12 立坑工	4 土留工	1	立坑工 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (H鋼杭)	基準高	±30	全数測定する。 (基準点は4隅と中央の5点の平均とする。)		出来形成果表を作成する。
					寸法 B	±100			
					深さ h	±30			
1 管路	12 立坑工	4 土留工	2	立坑土工	砕石基礎幅 b1	-50	全数測定する。 (基準点は4隅と中央の5点の平均とする。)		出来形成果表を作成する。
					砕石基礎厚 t1	-30			
					底版コンクリート基準高	±30			
					底版コンクリート幅 b2	-30			
					底版コンクリート厚 t2	-10			
1 管路	12 立坑工	4 土留工	3	矢板工	根入長 h	-50	立坑ごとに1辺1回、計4回測定する。		出来形成果表を作成する。

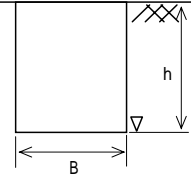
出来形管理基準及び規格値

単位：mm

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 管路	12 立坑工	4 土留工	4	支保工	基 準 高	± 100	基準高は、ブラケット高4点以上測定し、支点位置を算出、各部材長は実測する。		出来形成果表を作成する。
					部 材 長 B	± 100			
1 管路	12 立坑工	5 ライナープレート式 土留工及び土工	1	立坑工 (ライナープレート式土留工)	基 準 高	± 30	全数測定する。 (基準点は4隅と中央の5点の平均とする。)		出来形成果表を作成する。
					寸 法 B	± 100			
					深 さ h	± 30			
1 管路	12 立坑工	5 ライナープレート式 土留工及び土工	2	立坑土工	砕石基礎幅 b1	-50	全数測定する。 (基準点は4隅と中央の5点の平均とする。)		出来形成果表を作成する。
					砕石基礎厚 t1	-30			
					底版コンクリート 基 準 高	± 30			
					底版コンクリート 幅 b2	-30			
					底版コンクリート 厚 t2	-10			

出来形管理基準及び規格値

単位：mm

章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
1 管路	12 立坑工	5 ライナー 土留工及び プレート式	3	支保工 (補強リング含む)	基準高	±100	基準高は、プレート高4点以上測定し、支点位置を算出、各部材長は実測する。		出来形成果表を作成する。
					部材長 B	±100			
1 管路	12 立坑工	6 鋼製ケーシング 土留工及び 土工	1	立坑工 (鋼製ケーシング式土留工)	基準高	±30	全数測定する。		出来形成果表を作成する。
					寸法 B	±100			
					深さ h	±30			
1 管路	12 立坑工	6 鋼製ケーシング 土留工及び 土工	2	立坑土工	底板コンクリート 基準高	±30	全数測定する。 (基準点は4隅と中央の5点の平均とする。)		出来形成果表を作成する。
					底板コンクリート 幅 b1	-30			
					底板コンクリート 厚 t1	-10			

第2章 処理場・ポンプ場については、日本下水道事業団「土木工事必携」に準拠するものとする。

第3章 機械電気設備工については、日本下水道事業団「機械設備工事必携」および「電気設備工事必携」に準拠するものとする。



## **・品質管理基準及び規格値**

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
管(鉄筋工 コンクリート管)	材料	必須	形状・寸法および外観 (カラーおよびゴム輪を含む) 外圧強さ 水密性	JSWAS A-1による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、外圧強さ、水密性はJSWAS A-1による。	外観検査は全数行う。 形状・寸法、外圧強さ、水密性は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
管(硬質塩化ビニル管)	材料	必須	形状・寸法および外観 引張試験 偏平試験 負圧試験 耐薬品性試験 ピカット軟化温度試験	JSWAS K-1による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、引張試験、偏平試験、負圧試験、耐薬品性試験、ピカット軟化温度試験はJSWAS K-1による。	外観検査は全数行う。 形状・寸法、引張試験、偏平試験、負圧試験、耐薬品性試験、ピカット軟化温度試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
管(リブ付硬質塩化ビニル管)	材料	必須	形状・寸法および外観 引張試験 偏平試験 負圧試験 耐薬品性試験 ピカット軟化温度試験	JSWAS K-13による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、引張試験、偏平試験、負圧試験、耐薬品性試験、ピカット軟化温度試験はJSWAS K-13による。	外観検査は全数行う。 形状・寸法、引張試験、偏平試験、負圧試験、耐薬品性試験、ピカット軟化温度試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
管(強化プラスチック複合管)	材料	必須	形状・寸法および外観 外圧試験 耐薬品性試験 耐酸試験 水密試験	JSWAS K-2による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、外圧試験、耐薬品性試験、耐酸試験、水密試験はJSWAS K-2による。	外観検査は全数行う。 形状・寸法、外圧試験、耐薬品性試験、耐酸試験、水密試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
管(レジンコンクリート管)	材料	必須	形状・寸法および外観 外圧試験 水密性試験 耐酸性試験 吸水性試験	JSWAS K-11による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、外圧試験、水密性試験、耐酸性試験、吸水性試験はJSWAS K-11による。	外観検査は全数行う。 形状・寸法、外圧試験、水密性試験、耐酸性試験、吸水性試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
管(ボックスカルバート)	材料	必須	形状・寸法および外観 外圧強さ 水密性 コンクリートの圧縮強度	日本下水道協会 下水道用資器材類の 規定による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、外圧強さ、水密性、コンクリートの圧縮強度は下水道用資器材類の規定による。	外観検査は全数行う。 形状・寸法、外圧強さ、水密性、コンクリートの圧縮強度は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
管(ダクタイル鋳鉄管)	材料	必須	原管 内装 外装  形状・寸法および外観 コンクリートの圧縮強度	JSWAS G-1による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  原管、内装、外装における形状・寸法、コンクリートの圧縮強度はJSWAS G-1による。	外観検査は全数行う。  原管、内装、外装における形状・寸法、コンクリートの圧縮強度は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
管(鋼管)	材料	必須	形状・寸法および外観 成分・機械的性質 非破壊または水圧 塗装	日本下水道協会 下水道用資器材 類の 規定による JIS G 3443 JIS G 3451	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、成分・機械的性質、非破壊または水圧、塗装は下水道用資器材 類の規定による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、成分・機械的性質、非破壊または水圧、塗装は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
小口径推進工用鉄筋コンクリート管	材料	必須	形状・寸法および外観 (カラーおよびゴム輪を含む) 外圧強さ コンクリートの圧縮強度 水密性	JSWAS A-6による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、外圧強さ、コンクリートの圧縮強度、水密性はJSWAS A-6による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、外圧強さ、コンクリートの圧縮強度、水密性は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
小口径推進工 (推進工法用硬質塩化ビニル管)	材料	必須	形状・寸法および外観 引張試験 偏平試験 圧縮試験 負圧試験 耐薬品性試験 ピカット軟化温度試験	JSWAS K-6による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、引張試験、偏平試験、圧縮試験、負圧試験、耐薬品性試験、ピカット軟化温度試験はJSWAS K-6による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、引張試験、偏平試験、圧縮試験、負圧試験、耐薬品性試験、ピカット軟化温度試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
小口径推進工 (推進工法用ダクタイル鋳鉄管)	材料	必須	原管 内装 外装  形状・寸法および外観	JSWAS G-2による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  原管、内装、外装における形状・寸法はJSWAS G-2による。	外観検査は全数行う。  原管、内装、外装における形状・寸法は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
小口径推進工 (鋼管)	材料	必須	形状・寸法および外観 成分・機械的性質 非破壊または水圧 塗装	日本下水道協会 下水道用資器材類の 規定による JIS G 3444	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、成分・機械的性質、非破壊または水圧、塗装は下水道用資器材類の規定による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、成分・機械的性質、非破壊または水圧、塗装は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
小口径 追加材 推進工	材料	必須	配合試験	監督員の指示による	監督員の指示による	施工前および材料変更時	滑材、添加材、中込め充填材に適用する。	
小口径 伏推 進工 ( コン クリ ート)	施工	必須	スランプ試験 空気量測定 コンクリートの圧縮強度	JIS A 1101 JIS A 1116,1118,1128 JIS A 1108	JIS A 1101 JIS A 1116,1118,1128 JIS A 1108	50m3につき1回行う		
推 進 工 ( 推 進 工 法 用 鉄 筋 コ ン ク リ ー ト 管)	材料	必須	形状・寸法および外観 (カラーおよびゴム輪を含む) 外圧強さ コンクリートの圧縮強度 水密性	JSWAS A-2による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、外圧強さ、コンクリートの圧縮強度、水密性はJSWAS A-2による。	外観検査は全数行う。 形状・寸法、外圧強さ、コンクリートの圧縮強度、水密性は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
推進工 (推進工法用ガラス繊維鉄筋コンクリート管)	材料	必須	形状・寸法および外観 (カラーおよびゴム輪を含む) 外圧試験 内圧強度試験 コンクリートの圧縮強度 水密試験	JSWAS A-8による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、外圧試験、内圧強度試験、コンクリートの圧縮強度、水密試験はJSWAS A-8による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、外圧試験、内圧強度試験、コンクリートの圧縮強度、水密試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
推進工 (推進工法用ダクタイル鋳鉄管)	材料	必須	原管 内装 外装  形状・寸法および外観	JSWAS G-2による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  原管、内装、外装における形状・寸法はJSWAS G-2による。	外観検査は全数行う。  原管、内装、外装における形状・寸法は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
推進工 (鋼管)	材料	必須	形状・寸法および外観 成分・機械的性質 非破壊または水圧 塗装	日本下水道協会 下水道用資器材 類の 規定による JIS G 3444	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、成分・機械的性質、非破壊または水圧、塗装は下水道用資器材 類の規定による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、成分・機械的性質、非破壊または水圧、塗装は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
推(進加工等)	材料	必須	配合試験	監督員の指示による	監督員の指示による	施工前および材料変更時	滑材、添加材、裏込材に適用する。	
推(進工コンクリート)	施工	必須	スランプ試験 空気量測定 コンクリートの圧縮強度	JIS A 1101 JIS A 1116, 1118, 1128 JIS A 1108	JIS A 1101 JIS A 1116, 1118, 1128 JIS A 1108	50m3につき1回行う		
一(次覆工セグメント)	材料	必須	材料検査 形状・寸法および外観 溶接検査 水平仮組検査 性能検査 ジャッキ推力検査 単体曲げ試験	JSWAS A-3による	・下水道協会規格の場合 〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。 有害な曲がり、そり等がないこと。  材料検査、形状・寸法、溶接検査、水平仮組検査、性能検査はJSWAS A-3による。	外観検査は全数行う。  材料検査、形状・寸法、溶接検査、水平仮組検査は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。  性能検査は1タイプごとに行う。	セグメントには次の項目が表示されていること。 ・県章 ・製造会社マークおよび製造工場名 ・セグメントの種別 ・製造年月 ・検査合格の証(協会認定標章)	
					・下水道協会規格外の場合 〔外観検査〕 有害な曲がり、そり等がないこと。  材料検査、形状・寸法、溶接検査、水平仮組検査、性能検査はJSWAS A-3による。	外観検査は全数行う。  材料検査、形状・寸法、溶接検査、水平仮組検査、性能検査は1タイプごとに行う。		



工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
一(コンクリートセグメント)	材料	必須	形状・寸法および外観 水平仮組検査 性能検査 単体曲げ試験 継手曲げ試験 ジャッキ推力検査 釣手金具の引抜試験	JSWAS A-4による	・下水道協会規格の場合 〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。 有害な曲がり、隅角部の破損等がないこと。  形状・寸法、水平仮組検査、性能検査はJSWAS A-4による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、水平仮組検査、性能検査は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。	セグメントには次の項目が表示されていること。 ・県章 ・製造会社マークおよび製造工場名 ・セグメントの種別 ・製造年月 ・検査合格の証(協会認定標章)	
					・下水道協会規格外の場合 〔外観検査〕 有害な曲がり、隅角部の破損等がないこと。  形状・寸法、水平仮組検査、性能検査はJSWAS A-4による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、水平仮組検査、性能検査はセグメント500リングおよびその端数に1回行う。		
二(強化プラスチック複合管)	材料	必須	形状・寸法および外観 外圧試験 基準たわみ外圧試験 破壊外圧試験 耐薬品性試験 耐酸試験 水密試験	JSWAS K-16による	・下水道協会規格の場合 〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、外圧試験、耐薬品性試験、耐酸試験、水密試験はJSWAS K-16による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、外圧試験、耐薬品性試験、耐酸試験、水密試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
					・下水道協会規格外の場合 〔外観検査〕 有害なひび割れ等がないこと。  形状・寸法、外圧試験、耐薬品性試験、耐酸試験、水密試験はJSWAS K-16による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、外圧試験、耐薬品性試験、耐酸試験、水密試験は監督員の指示による。		

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認	
一(次覆加工等)	材料	必須	配合試験	監督員の指示による	監督員の指示による	施工前および材料変更時	添加材、裏込材に適用する。		
二(次中覆込工)	材料	必須	一軸圧縮強度	FRPM管によるシールド二次覆工技術マニュアル ( (財)下水道新技術推進機構 ) による	1.0N/mm <sup>2</sup> 以上 (材令28日以上)	測定は1日/回、注入前に行うこととする。 なお、配合試験を行う。			
			生比重		0.70 ~ 0.90				
			フロー値		170 ~ 240mm				
マ(組立マンホール設置工側塊)	材料	必須	形状・寸法および外観 耐荷力 水密性 コンクリート圧縮強さ	日本下水道協会 下水道用資器材 類の 規定による JIS A 5372	[ 外観検査 ] 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、耐荷力、水密性、コンクリート圧縮強さは下水道用資器材類の規定による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、耐荷力、水密性、コンクリート圧縮強さは日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。			
マ( 鑄鉄製マンホールふた )	材料	必須	マンホールふた性能規定書 ( 滋賀県琵琶湖環境部下水道課 ) による	マンホールふた性能規定書 ( 滋賀県琵琶湖環境部下水道課 ) による	マンホールふた性能規定書 ( 滋賀県琵琶湖環境部下水道課 ) による	外観検査は全数行う。  その他はマンホールふた性能規定書 ( 滋賀県琵琶湖環境部下水道課 ) による。	性能規定書に規格がないものについては、JSWAS G-4による。		

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
マンホール設置工 (マンホール足掛金物)	材料	必須	形状・寸法および外観 材質	目視による	〔外観検査〕 被覆材は有害なわれ、破損等がないこと。  形状・寸法、材質は品質を判定できる資料または試験成績表を提出する。	外観検査は全数行う。  芯材 JIS G 4303(SUS403, SUS304)、 JIS G 3507(SWRCH12R)、 JIS G 3539(SWCH12R) の規格に適合すること。		
マンホール設置工 (鉄筋コンクリート製小型組立マンホール)	材料	必須	形状・寸法および外観 コンクリートの圧縮強度試験 軸方向耐圧試験 接合部の水密性試験	JSWAS A-10による  内ふたはJSWAS K-7、 防護ふたはJSWAS G-3 による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、コンクリートの圧縮強度試験、軸方向耐圧試験、接合部の水密性試験はJSWAS A-10による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、コンクリートの圧縮強度試験、軸方向耐圧試験、接合部の水密性試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
マンホール設置工 (鉄筋コンクリート製組立マンホール)	材料	必須	形状・寸法および外観 コンクリートの圧縮強度試験 軸方向耐圧試験 接合部の水密性試験 側方曲げ強さ試験	JSWAS A-11による  ふたはJSWAS G-4による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、コンクリートの圧縮強度試験、軸方向耐圧試験、接合部の水密性試験、側方曲げ強さ試験はJSWAS A-11による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、コンクリートの圧縮強度試験、軸方向耐圧試験、接合部の水密性試験、側方曲げ強さ試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
マンホール設置工 (硬質塩化ビニル製小型マンホール)	材料	必須	形状・寸法および外観 引張試験 荷重試験 負圧試験 耐薬品性試験 ピカット軟化温度試験	JSWAS K-9による  内ふたはJSWAS K-7、 防護ふたはJSWAS G-3 による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、引張試験、荷重試験、負圧試験、耐薬品性試験、ピカット軟化温度試験はJSWAS K-9による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、引張試験、荷重試験、負圧試験、耐薬品性試験、ピカット軟化温度試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
マンホール設置工 (レジンコンクリート製マンホール)	材料	必須	形状・寸法および外観 圧縮強度試験 耐酸性試験 吸水性試験 軸方向耐圧試験 接合部の水密性試験	JSWAS K-10による  ふたはJSWAS G-4による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、圧縮強度、耐酸性試験、吸水性試験、軸方向耐圧試験、接合部の水密性試験はJSWAS K-10による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、圧縮強度、耐酸性試験、吸水性試験、軸方向耐圧試験、接合部の水密性試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
マンホール設置工 (硬質塩化ビニル製リブ付小型マンホール)	材料	必須	形状・寸法および外観 引張試験 荷重試験 負圧試験 耐薬品性試験 ピカット軟化温度試験	JSWAS K-17による  内ふたはJSWAS K-7、 防護ふたはJSWAS G-3、 立上り部はJSWAS K-9 による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、引張試験、荷重試験、負圧試験、耐薬品性試験、ピカット軟化温度試験はJSWAS K-17による。	外観検査は全数行う。  形状・寸法、引張試験、荷重試験、負圧試験、耐薬品性試験、ピカット軟化温度試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
ます(鑄鉄製防護ふた)	材料	必須	形状・寸法および外観 荷重たわみ試験 耐荷重試験 材質試験	JSWAS G-3による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、荷重たわみ試験、耐荷重試験、材質試験はJSWAS G-3による。	外観検査は全数行う。 形状・寸法、荷重たわみ試験、耐荷重試験、材質試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
ます(硬質塩化ビニル製ます)	材料	必須	形状・寸法および外観 引張試験 荷重試験 負圧試験 耐薬品性試験 ピカット軟化温度試験	JSWAS K-7による  防護ふたはJSWAS G-3、立上り部はJSWAS K-1による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、引張試験、荷重試験、負圧試験、耐薬品性試験、ピカット軟化温度試験はJSWAS K-7による。	外観検査は全数行う。 形状・寸法、引張試験、荷重試験、負圧試験、耐薬品性試験、ピカット軟化温度試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		
ます(ポリプロピレン製ます)	材料	必須	形状・寸法および外観 引張試験 荷重試験 負圧試験 耐薬品性試験 荷重たわみ温度試験	JSWAS K-8による  防護ふたはJSWAS G-3による	〔外観検査〕 日本下水道協会「認定標章」の表示があること。 もしくは、同等以上の材料とする。  形状・寸法、引張試験、荷重試験、負圧試験、耐薬品性試験、荷重たわみ温度試験はJSWAS K-8による。	外観検査は全数行う。 形状・寸法、引張試験、荷重試験、負圧試験、耐薬品性試験、荷重たわみ温度試験は日本下水道協会発行の「検査証明書」の写しによる。		

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
薬液注入工	材料	必須	ゲルタイム試験	監督員の指示による	監督員の指示による	施工前および材料変更時		
			比重測定	監督員の指示による	監督員の指示による	施工前および材料変更時		
			配合試験	監督員の指示による	監督員の指示による	施工前および材料変更時		
	施工	必須	現場注入試験	監督員の指示による	監督員の指示による	施工前および材料変更時		
			注入圧、注入量、注入時間測定	監督員の指示による	監督員の指示による	施工時適宜		
			検尺	監督員の指示による	監督員の指示による	全数		
			水質試験	「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」による	「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」による	「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」による		
管路土工	材料	必須	品質確認試験(埋戻材料)			監督員の指示による	流用土の場合に適用する。	
			コーン指数試験	JIS A 1228	JIS A 1228			
			設計C B R 試験	JIS A 1211	JIS A 1211			
			土の含水比試験	JIS A 1203	JIS A 1203			
			土の粒度試験	JIS A 1204	JIS A 1204			

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
基礎工	材料(砂)	必須	土の粒度試験	JIS A 1204	75 $\mu$ mふるい通過量 10%以下	施工前および材料変更時		
	材料(砕石)	必須	骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	JIS A 5001	施工前および材料変更時		
	材料(割栗石)	必須	比重、吸水率、圧縮強さ		JIS A 5006	施工前および材料変更時		
道路土工	施工	必須	現場密度の測定	最大粒径 53mm : JIS A 1214 JIS A 1210 A・B法 最大粒径 > 53mm : 舗装試験法便覧による	路体：最大乾燥密度の 90%以上 路床：最大乾燥密度の 90%以上	500m <sup>2</sup> に1箇所測定する。	リブ付硬質塩化ビニル管の場合に適用する。	

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
管防護工及び埋戻工	材料	その他	比重試験	JIS A 1202に準じる (施工採取試料)	確認事項	150mに1箇所測定する。	リップ付硬質塩化ビニル管の場合に適用する。	
				JIS A 1202に準じる (施工前の試料)	確認事項	1試料につき1回測定する。		
		締固め試験	JIS A 1210 (E-b法、B'-b法)	確認事項	1現場につきE-b法、B'-b法各1回測定する。			
	施工	その他	現場密度の測定	舗装試験法便覧による	レベル1：最大乾燥密度の83%以上かつ平均84%以上 レベル2：最大乾燥密度の88%以上かつ平均89%以上	150mに1箇所測定する。		
下層路盤	材料	必須	修正CBR試験 骨材のふるい分け試験 土の液性限界・塑性限界試験 鉄鋼スラグの水浸膨張性試験 道路用スラグの呈色判定試験	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による		
		その他	粗骨材のすりへり試験					
	施工	必須	現場密度の測定	舗装試験法便覧による	最大乾燥密度の95%以上	500㎡に1箇所測定する。	下水道工事の仮復旧に適用する。	



品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
上層路盤	材料	必須	修正CBR試験 鉄鋼スラグの修正CBR試験 骨材のふるい分け試験 土の液性限界・塑性限界試験 道路用スラグの呈色判定試験 鉄鋼スラグの水浸膨張性試験 鉄鋼スラグの一軸圧縮試験 鉄鋼スラグの単位容積質量試験	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による		
		その他	粗骨材のすりへり試験 硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験					
	施工	必須	現場密度の測定	舗装試験法便覧による	最大乾燥密度の95%以上	500m <sup>2</sup> に1箇所測定する。	下水道工事の仮復旧に適用する。	
アスファルト舗装	材料	必須	骨材のふるい分け試験 骨材の密度および吸収率試験 骨材中の粘土塊量の試験 粗骨材の形状試験 フィラーの粒度試験 フィラーの水分試験	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による		
		その他	フィラーの塑性指数試験 フィラーのフロー試験 フィラーの水浸膨張試験 フィラーの剥離抵抗性試験 製鋼スラグの水浸膨張性試験 製鋼スラグの比重及び吸収率試験					

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
アスファルト舗装	材料	その他	粗骨材のすりへり試験	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による		
			硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による			
			粗骨材中の軟石量試験 針入度試験 軟化点試験 伸度試験 トルエン可溶分試験 引火点試験 薄膜加熱試験 蒸発後の伸入度比試験 密度試験 高温動粘土試験 60 粘土試験 タフネス・テナシティ試験					
	プラント	必須	粒度(2.36mmフルイ) 粒度(75µmフルイ) アスファルト量抽出粒度分析試験 温度測定(アスファルト・骨材・混合物)	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による	国土交通省近畿地方整備局土木施工管理基準及び規格値(案)による		
	舗設現場	必須	現場密度の測定	舗装試験法便覧による	基準密度の94%以上	500㎡に1箇所測定する。	下水道工事の仮復旧に適用する。	
温度測定(初期締固め前)			温度計による	110 以上	測定値の記録は1日2回(午前・午後各1回)	下水道工事の仮復旧に適用する。		
外観検査(混合物)			目視		随時			

品質管理基準及び規格値

(下水道編)

工種	種別	試験区分	試験項目	試験方法	規格値	試験基準	摘要	試験成績表等による確認
立坑工	材料	必須	形状・寸法(土留材料)	監督員の指示による	監督員の指示による	施工前および材料変更時		
			配合試験(注入材料)	監督員の指示による	監督員の指示による	施工前および材料変更時	ベントナイトモルタル(プレボーリング用、引抜き跡注入用)、裏込め注入用モルタルに適用する。	
			品質確認試験(埋戻材料) コーン指数試験 設計C B R 試験 土の含水比試験 土の粒度試験	JIS A 1228 JIS A 1211 JIS A 1203 JIS A 1204	JIS A 1228 JIS A 1211 JIS A 1203 JIS A 1204	監督員の指示による	流用土の場合に適用する。	
	施工	必須	底版コンクリート スランプ試験 空気量測定 コンクリートの圧縮強度	JIS A 1101 JIS A 1116,1118,1128 JIS A 1108	JIS A 1101 JIS A 1116,1118,1128 JIS A 1108	50m3につき1回行う		
			土の締固め試験	JIS A 1210	JIS A 1210	1立坑につき1回行う		
			検尺	監督員の指示による	監督員の指示による	全数		

第2章 処理場・ポンプ場については、日本下水道事業団「土木工事必携」に準拠するものとする。

第3章 機械電気設備工については、日本下水道事業団「機械設備工事必携」および「電気設備工事必携」に準拠するものとする。

## **. 写真管理基準**

**撮影箇所一覧表**

**出来形管理写真撮影箇所一覧表**

**品質管理写真撮影箇所一覧表**

**施工状況写真撮影箇所一覧表**

撮影箇所一覧表

区分	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前1回 〔着手前〕	全路線毎に撮影すること。
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回 〔完成後〕	
施工状況写真	工事施工中	施工中の写真	高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜 〔施工中〕	高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付する。
	仮設（指定仮設）	使用材料、仮設状況、形状寸法	1施工箇所毎に1回 〔施工前後〕	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて 〔発生時〕	工事打合簿に添付する。
	別添 施工状況写真撮影箇所一覧表に記載 （工種、種別ごとに土木工事共通仕様書、下水道工事共通仕様書および諸基準に従い施工していることが確認できるもの）			
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	種類ごとに1回 〔設置後〕	
		各種保安施設の設置状況	種類ごとに1回 〔設置後〕	
		交通誘導員配置状況	各配置形態毎に1回 〔作業中〕	
		安全訓練等の実施状況	実施ごとに1回 〔実施中〕	実施状況資料に添付する。
使用材料	使用材料	形状寸法	品目ごとに1回 〔使用前〕	品質証明に添付する。
		検査実施状況	品目ごとに1回 〔検査時〕	

撮影箇所一覧表

区 分	工 種	写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
品質管理写真	別添	品質管理写真撮影箇所一覧表に記載		
出来形管理写真	別添	出来形写真撮影箇所一覧表に記載		
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕	
事故	事故報告	事故の状況	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	
その他	補償関係	被害又は損傷状況等	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	
	環境対策 イメージアップ等	各施設設置状況	各種1回 〔設置後〕	

第2章 処理場・ポンプ場については、日本下水道事業団「土木工事必携」に準拠するものとする。

第3章 機械電気設備工については、日本下水道事業団「機械設備工事必携」および「電気設備工事必携」に準拠するものとする。

出来形管理写真撮影箇所一覧表

章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	
					撮影項目	撮影頻度〔時期〕		
1	管路	3 管きょ工（開削）	3 管路土工	1	管路掘削	深さ 幅	1スパンごとに1回 〔施工後〕	
1	管路	3 管きょ工（開削）	3 管路土工	2	管路埋戻	巻出厚	1スパンごとに1回 〔施工後〕	
1	管路	3 管きょ工（開削）	4 管布設工	1	管布設 （自然流下管）	基準高 中心線の変位	1スパンごとに1回 〔施工後〕	
1	管路	3 管きょ工（開削）	4 管布設工	2	矩形渠 （プレキャスト）	基準高 中心線の変位	施工延長20mごとに1回 〔施工後〕	
1	管路	3 管きょ工（開削）	4 管布設工	3	圧送管	基準高 中心線の変位	施工延長40mごとに1回 〔施工後〕	
1	管路	3 管きょ工（開削）	5 管基礎工	1	砂基礎	厚さ 幅	1スパンごとに1回 〔施工後〕	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要	
					撮影項目	撮影頻度〔時期〕		
1	管路	3 管きょ工（開削）	5 管基礎工	2	砂防護	厚さ	1スパンごとに1回 〔施工後〕	
1	管路	3 管きょ工（開削）	5 管基礎工	3	碎石基礎	厚さ 幅	1スパンごとに1回 〔施工後〕	
1	管路	3 管きょ工（開削）	5 管基礎工	4	碎石防護	厚さ	1スパンごとに1回 〔施工後〕	
1	管路	3 管きょ工（開削）	5 管基礎工	5	コンクリート基礎	厚さ 幅	1スパンごとに1回 〔施工後〕	
1	管路	3 管きょ工（開削）	5 管基礎工	6	はしご胴木基礎	厚さ 幅	1スパンごとに1回 〔施工後〕	
1	管路	3 管きょ工（開削）	6 水路築造工		現場打水路	厚さ 幅 高さ 中心線の変位	1打設ごとに1回 〔施工後〕	



出来形管理写真撮影箇所一覧表

章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
					撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
1 管路	3 管きよ工（開削）	7 管路土留工	1	土留・仮締切工 （H鋼杭） （鋼矢板）	基準高	スパンごとに1回 〔施工後〕	任意仮設は除く。
					根入長	1スパンごとに1回 〔施工前後〕	
1 管路	3 管きよ工（開削）	7 管路土留工	2	土留・仮締切工 （軽量鋼矢板） （木矢板）	根入長	1スパンごとに1回 〔施工後〕	任意仮設は除く。
1 管路	4 管きよ工（小口径推進）	3 小口径推進工		小口径推進工	基準高 中心線の変位	1スパンごとに1回 〔施工後〕	
1 管路	4 管きよ工（小口径推進）	4 立坑内管布設工		空伏工	幅 高さ 中心のずれ	全数 〔施工後〕	
1 管路	5 管きよ工（推進）	3 推進工		推進工	基準高 中心線の変位	1スパンごとに1回 〔施工後〕	
1 管路	5 管きよ工（推進）	4 立坑内管布設工		空伏工	幅 高さ 中心のずれ	全数 〔施工後〕	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
					撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
1	管路	3		一次覆工	基準高 中心線の変位	100リングごとに1回 〔掘進後〕	
1	管路	4	1	二次覆工 (覆工コンクリート)	基準高 仕上り内径	設計測点ごとに1回 〔覆工後〕	
					二次覆工厚	5打設ごとに1回 〔覆工後〕	
1	管路	4	2	二次覆工 (強化プラスチック複 合管)	基準高	設計測点ごとに1回 〔覆工後〕	
					二次覆工厚	FRPM管5本ごとに1回 〔据付完了後〕	
					たわみ率 継手隙間	施工延長500mごとに1回 〔覆工後〕	
1	管路	3	1	標準マンホール工	外観、形状寸法	打設区分ごとに1回 〔脱型後〕	
					インバートの外 観、形状	全数 〔施工後〕	
					足掛け金物	マンホールごとに1回 〔施工後〕	
					マンホールふた、 調整工	全数 〔施工後〕	
1	管路	3	2	標準マンホール基礎工	床堀深 基礎工幅 基礎工高 コンクリート工幅 コンクリート工高	全数 〔施工後〕	
1	管路	4		組立マンホール工	インバートの外 観、形状	全数 〔施工後〕	
					マンホールふた、 調整工	全数 〔施工後〕	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
					撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
1 管路	7 マンホール工	5 小型マンホール工		小型マンホール工	インパートの外観、形状	全数 〔施工後〕	
					マンホールふた、調整工	全数 〔施工後〕	
1 管路	7 マンホール工	4・5 組立・小型マンホール工		組立・小型マンホール基礎工	床堀深 敷モルタル幅 敷モルタル高	全数 〔施工後〕	
1 管路	8 特殊マンホール工	4 躯体工		現場打ち特殊人孔	外観、形状寸法	打設区分ごとに1回 〔脱型後〕	
					インパートの外観、形状	全数 〔施工後〕	
					足掛け金物	マンホールごとに1回 〔施工後〕	
					マンホールふた、調整工	全数 〔施工後〕	
1 管路	8 特殊マンホール工	伏せ越し室・雨水吐室工		伏せ越し室・雨水吐室	外観、形状寸法	打設区分ごとに1回 〔脱型後〕	
					インパートの外観、形状	全数 〔施工後〕	
					足掛け金物	マンホールごとに1回 〔施工後〕	
					マンホールふた、調整工	全数 〔施工後〕	
1 管路	8 特殊マンホール工	伏せ越し管工		伏せ越し管	基準高 中心線の変位	全数 〔施工後〕	
1 管路	8 特殊マンホール工	越流堰（雨水吐室）		越流堰（雨水吐室）	基準高 幅（厚さ） 高さ（深さ） 延長（長さ）	全数 〔施工後〕	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
					撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
1 管路	8 特殊マンホール工			中継ポンプ施設	幅、長さ 深さ 壁厚	全数 〔施工後〕	
1 管路	9 取付管及びます工	4 ます設置工		汚水ます	ます深	全数 〔施工後〕	
1 管路	9 取付管及びます工	5 取付管布設工		取付管	延長 掘削幅 砂基礎厚 砂防護厚	10箇所ごとに1回 〔施工後〕	
1 管路	11 付帯工	5 舗装復旧工	1	舗装復旧工 (下層路盤工)	厚さ 幅	1スパンごとに1回 〔施工後〕	下水道工事の仮復旧に適用する。
1 管路	11 付帯工	5 舗装復旧工	2	舗装復旧工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚さ 幅	1スパンごとに1回 〔施工後〕	下水道工事の仮復旧に適用する。
1 管路	11 付帯工	5 舗装復旧工	3	舗装復旧工 (表層工)	厚さ 幅	1スパンごとに1回 〔施工後〕	下水道工事の仮復旧に適用する。

出来形管理写真撮影箇所一覧表

章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
					撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
1 管路	12 立坑工	4 土留工	1	立坑工 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (H鋼杭)	基準高 寸法 深さ	全数 〔施工後〕	
1 管路	12 立坑工	4 土留工	2	立坑土工 (砕石基礎)	砕石基礎幅 砕石基礎厚	全数 〔施工後〕	
1 管路	12 立坑工	4 土留工	3	立坑土工 (底板コンクリート)	基準高 底板コンクリート幅 底板コンクリート厚	全数 〔施工後〕	
					鉄筋組立・加工	全数 〔組立後〕	
1 管路	12 立坑工	4 土留工	4	立坑土工 (土工・埋戻)	巻出厚	立坑ごとに1回 〔施工後〕	
1 管路	12 立坑工	4 土留工	5	矢板工	根入長	立坑ごとに1回 〔施工後〕	
1 管路	12 立坑工	4 土留工	6	支保工	基準高 部材長	立坑ごとに1回 〔施工後〕	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
					撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
1 管路	12 立坑工	5 土留工 ライナープレート式 及び土工	1	立坑工 (ライナープレート式 土留工)	基準高 寸法 深さ	全数 〔施工後〕	
1 管路	12 立坑工	5 土留工 ライナープレート式 及び土工	2	立坑土工 (砕石基礎)	砕石基礎幅 砕石基礎厚	全数 〔施工後〕	
1 管路	12 立坑工	5 土留工 ライナープレート式 及び土工	3	立坑土工 (底板コンクリート)	基準高 底板コンクリート幅 底板コンクリート厚	全数 〔施工後〕	
1 管路	12 立坑工	5 土留工 ライナープレート式 及び土工	4	立坑土工 (土工・埋戻)	巻出厚	立坑ごとに1回 〔施工後〕	
1 管路	12 立坑工	5 土留工 ライナープレート式 及び土工	5	支保工 (補強リング含む)	基準高 部材長	立坑ごとに1回 〔施工後〕	
1 管路	12 立坑工	6 土留工 鋼製ケーシング式 及び土工	1	立坑工 (鋼製ケーシング式土 留工)	基準高 寸法 深さ	全数 〔施工後〕	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

章	節	条	枝番	工 種	写真管理項目		摘 要
					撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
1 管路	12 立坑工	6 鋼製ケーシング式 土留工及び 土留工	2	立坑土工 (底版コンクリート)	基準高 底版コンクリート幅 底版コンクリート厚	全数 〔施工後〕	
1 管路	12 立坑工	6 鋼製ケーシング式 土留工及び 土留工	3	立坑土工 (土工・埋戻)	巻出厚	立坑ごとに1回 〔施工後〕	

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工 種	写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
1	管布設工 (鉄筋コンクリート管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 [検査実施中]	JSWAS A-1
2	管布設工 (硬質塩化ビニル管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 [検査実施中]	JSWAS K-1
3	管布設工 (リップ付硬質塩化ビニル管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 [検査実施中]	JSWAS K-13
4	管布設工 (強化プラスチック複合管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 [検査実施中]	JSWAS K-2
5	管布設工 (レジンコンクリート管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 [検査実施中]	JSWAS K-11
6	管布設工 (ボックスカルパート)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 [検査実施中]	日本下水道協会 下水道用資器材類
7	管布設工 (ダクタイル鋳鉄管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 [検査実施中]	JSWAS G-1
8	管布設工 (鋼管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 [検査実施中]	日本下水道協会 下水道用資器材類 JIS G 3443 JIS G 3451
9	小口径推進工 (推進工法用鉄筋コンクリート管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 [検査実施中]	JSWAS A-6
10	小口径推進工 (推進工法用硬質塩化ビニル管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 [検査実施中]	JSWAS K-6



品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工 種	写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
11	小口径推進工 (推進工法用ダクタイル 鋳鉄管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	JSWAS G-2
12	小口径推進工 (鋼管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	日本下水道協会 下水道用資器材 類 JIS G 3444
13	小口径推進工 (添加材等)	配合試験	種別ごとに1回 〔検査実施中〕	滑材、添加材、中 込め充填材に適用 する。
14	小口径推進工 (材料検収)	搬入時および空袋検収時	全数 〔施工前後〕	
15	小口径推進工 (空伏コンクリート)	スランプ試験 空気量測定 コンクリートの圧縮強度試験	50m <sup>3</sup> に1回 〔試験実施時〕	
16	小口径推進工 (発生土処理)	コーン指数試験 一軸圧縮強度試験	適宜 〔試験実施時〕	
17	推進工 (推進工法用鉄筋コン クリート管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	JSWAS A-2
18	推進工 (推進工法用ガラス織 維鉄筋コンクリート 管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	JSWAS A-8
19	推進工 (推進工法用ダクタイル 鋳鉄管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	JSWAS G-2
20	推進工 (鋼管)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	日本下水道協会 下水道用資器材 類 JIS G 3444

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工 種	写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
21	推進工 (添加材等)	配合試験	種別ごとに1回 [ 検査実施中 ]	滑材、添加材、裏込材に適用する。
22	推進工 (材料検収)	搬入時および空袋検収時	全数 [ 施工前後 ]	
23	推進工 (空伏コンクリート)	スランプ試験 空気量測定 コンクリートの圧縮強度試験	50m3に1回 [ 試験実施時 ]	
24	推進工 (発生土処理)	コーン指数試験 一軸圧縮強度試験	適宜 [ 試験実施時 ]	
25	一次覆工 (鋼製セグメント)	外観検査 性能検査  ・下水道協会規格外の場合 材料検査 形状・寸法検査 溶接検査 水平仮組検査 性能検査	1タイプごとに1回 [ 検査実施中 ]	JSWAS A-3
26	一次覆工 (コンクリートセグメント)	外観検査  ・下水道協会規格外の場合 形状・寸法検査 水平仮組検査 性能検査	500リングごとに1回 [ 検査実施中 ]	JSWAS A-4
27	二次覆工 (強化プラスチック複合管)	外観検査  ・下水道協会規格外の場合 形状・寸法検査 外圧試験 耐薬品性試験 耐酸試験 水密試験	材料の入荷(種類)ごとに1回 [ 検査実施中 ]	JSWAS K-16

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工 種	写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
28	一次覆工 (添加材等)	配合試験	種別ごとに1回 〔検査実施中〕	添加材、裏込材に 適用する。
29	一次覆工 (材料検収)	搬入時および空袋検収時	全数 〔施工前後〕	
30	一次覆工 (発生土処理)	コーン指数試験 一軸圧縮強度試験	適宜 〔試験実施時〕	
31	二次覆工 (中込材)	一軸圧縮強度 生比重 フロー値	測定ごとに1回 〔検査実施中〕	
32	マンホール設置工 (組立マンホール側 塊)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	日本下水道協会 下水道用資器材 類 JIS A 5372
33	マンホール設置工 (鋳鉄製マンホールふ た)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	マンホールふた性 能規定書 JSWAS G-4
34	マンホール設置工 (マンホール足掛金 物)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	
35	マンホール設置工 (鉄筋コンクリート製 小型組立マンホール)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	JSWAS A-10
36	マンホール設置工 (鉄筋コンクリート製 組立マンホール)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	JSWAS A-11
37	マンホール設置工 (硬質塩化ビニル製小 型マンホール)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	JSWAS K-9

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工 種	写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
38	マンホール設置工 (レジンコンクリート製マンホール)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	JSWAS K-10
39	マンホール設置工 (硬質塩化ビニル製リブ付小型マンホール)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	JSWAS K-17
40	ます設置工 (鋳鉄製防護ふた)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	JSWAS G-3
41	ます設置工 (硬質塩化ビニル製ます)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	JSWAS K-7
42	ます設置工 (ポリプロピレン製ます)	外観検査	材料の入荷(種類)ごとに1回 〔検査実施中〕	JSWAS K-8
43	薬液注注入工 (材料検収)	搬入時および空袋検収時	全数 〔施工前後〕	
44	薬液注注入工 (ゲルタイム)	ゲルタイム測定	施工箇所ごとに1回 〔施工前〕	
45	薬液注注入工	注入圧、注入時間、単位吐出量測定	施工箇所ごとに1回 〔施工中〕	
46	薬液注注入工 (マーキング)	マーキング箇所確認	施工箇所ごとに1回 〔施工前〕	
47	薬液注注入工 (検尺)	検尺状況	施工箇所ごとに1回 〔施工後〕	

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	
48	薬液注入工 (現場注入試験)	現場注入試験状況	施工箇所ごとに1回 〔試験実施中〕	
49	薬液注入工 (水質試験)	水質試験状況	施工箇所ごとに1回 〔試験実施中〕	
50	管路土工	品質確認試験状況 コーン指数試験 設計C B R 試験 土の含水比試験 土の粒度試験	施工箇所ごとに1回 〔試験実施時〕	流用土の場合
51	管路土留工 (土留材料)	形状・寸法	種別ごとに1回 〔施工前〕	
52	立坑工 (土留材料)	形状・寸法	1立坑ごとに1回 〔施工前〕	
53	立坑工 (注入材料)	配合試験	1立坑ごとに1回 〔試験実施時〕	ベントナイトモルタル(プレボーリング用、引抜き跡注入用)、裏込め注入用モルタル
54	立坑土工 (底版コンクリート)	スランプ試験 空気量測定 コンクリートの圧縮強度試験	50m <sup>3</sup> に1回 〔試験実施時〕	
55	立坑土工 (土工・埋戻)	品質確認試験状況 コーン指数試験 設計C B R 試験 土の含水比試験 土の粒度試験	1立坑ごとに1回 〔試験実施時〕	流用土の場合
56	立坑土工 (土工・埋戻)	土の締固め試験	1立坑ごとに1回 〔試験実施時〕	

施工状況写真撮影箇所一覧表

番号	工 種	写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度	
1	管路土工 (管路掘削)	掘削状況 基面整正状況 掘削機械・機種	1スパンごとに1回	
2	管路土工 (管路埋戻)	埋戻状況 転圧状況 埋戻機械・機種 転圧機械・機種	1スパンごとに1回	
3	管路土工 (発生土処理)	搬出状況	搬出時に1回	
		運搬経路 処分状況	処分地ごとに1回	
4	管布設工 (自然流下管)	布設状況 滑材の塗布 ゴム輪接合 挿入 芯出し せん孔 支管の接合 マンホールとの接合	1スパンごとに1回	
5	管布設工 (プレキャスト)	布設状況 芯出し 緊結状況 マンホールとの接合	1スパンごとに1回	
6	管布設工 (圧送管)	布設状況 接合状況	施工延長40mごとに1回	

施工状況写真撮影箇所一覧表

番号	工 種	写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度	
7	管基礎工 (砂防護・砂基礎)	転圧状況 転圧機械・機種	1スパンごとに1回	
8	管基礎工 (砕石防護・砕石基礎)	転圧状況 転圧機械・機種	1スパンごとに1回	
9	管路土留工 (H鋼杭) (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (木矢板)	設置・撤去状況	1スパンごとに1回	任意仮設は除く
10	管路土留工 (支保工)	切梁・腹起し設置状況	1スパンごとに1回	任意仮設は除く
11	小口径推進工 (掘進機)	外観・形状寸法	機種ごとに1回	
12	小口径推進工 (管推進工)	管据付状況	管1本ごとに1回	
		油圧ジャッキ押し込み状況 掘進機及び推進設備運転操作状況 土質及び残土搬出状況	1スパンごとに1回	

施工状況写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目		摘要
		撮影項目	撮影頻度	
13	小口径推進工 (仮設備) (泥水処理設備)	各種設備設置撤去状況 推進設備 掘進機 坑口 支圧壁 泥水処理設備 等	設置撤去ごとに1回	
14	小口径推進工 (発生土処理)	搬出状況	搬出時に1回	
		運搬経路 処分状況	処分地ごとに1回	
15	小口径推進工 (空伏せ)	管布設状況 鉄筋組立状況 鉄筋組立状況 コンクリート打設状況	全数	
16	推進工 (掘進機)	外観・形状寸法	機種ごとに1回	
17	推進工 (管推進工)	管据付状況	管1本ごとに1回	
		ストラット入替状況 油圧ジャッキ押し込み状況 掘進機及び推進設備運転操作状況 裏込め注入状況 目地施工状況 土質及び残土搬出状況	1スパンごとに1回	
18	推進工 (仮設備) (泥水処理設備)	各種設備設置撤去状況 推進設備 掘進機 坑口 支圧壁 泥水処理設備 等	設置撤去ごとに1回	



施工状況写真撮影箇所一覧表

番号	工 種	写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度	
19	推進工 (発生土処理)	搬出状況	搬出時に1回	
		運搬経路 処分状況	処分地ごとに1回	
20	推進工 (空伏せ)	管布設状況 鉄筋組立状況 鉄筋組立状況 コンクリート打設状況	全数	
21	一次覆工 (シールド機)	外観・形状寸法	機種ごとに1回	
22	一次覆工 (覆工セグメント)	掘削状況 セグメント組立状況 シールド機及び設備運転操 作状況 裏込め注入状況 土質及び残土搬出状況		
23	一次覆工 (坑内設備) (立坑設備) (泥水処理設備)	各種設備設置撤去状況 シールド機 門型クレーン プラント類 坑口 支圧壁 軌条設備 泥水処理設備 等		
24	二次覆工 (覆工コンクリート)	スチールフォーム組立状況 コンクリート打設状況 坑内清掃状況		

施工状況写真撮影箇所一覧表

番号	工 種	写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度	
25	二次覆工 (仮設備)	各種設備設置撤去状況 スチールフォーム プラント類 等		
26	一次覆工 (発生土処理)	搬出状況	搬出時に1回	
		運搬経路 処分状況	処分地ごとに1回	
27	標準マンホール工	鉄筋組立状況 型枠組立状況	打設区分ごとに1回	
		コンクリート打設状況 側塊据付状況 足掛金物設置状況	マンホールごとに1回	
28	標準マンホール基礎工	基礎コンクリート設置状況	マンホールごとに1回	
29	組立マンホール工	据付状況 シール材施工状況	マンホールごとに1回	
30	小型マンホール工	据付状況 シール材施工状況	マンホールごとに1回	

施工状況写真撮影箇所一覧表

番号	工 種	写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度	
31	組立・小型マンホール基礎工	敷モルタル設置状況	マンホールごとに1回	
32	特殊マンホール工 (躯体工)	鉄筋組立状況 型枠組立状況	打設区分ごとに1回	
		コンクリート打設状況 側塊据付状況 足掛金物設置状況	マンホールごとに1回	
33	特殊マンホール工 (伏せ越し室・雨水吐室工)	鉄筋組立状況 型枠組立状況	打設区分ごとに1回	
		コンクリート打設状況 側塊据付状況 足掛金物設置状況	マンホールごとに1回	
34	取付管及びます工 (ます設置工)	設置状況	全数	
35	取付管及びます工 (取付管布設工)	布設状況	全数	
36	舗装復旧工 (上層路盤工) (下層路盤工)	敷均し・転圧状況	施工延長400mごとに1回	下水道工事の復旧に適用する。

施工状況写真撮影箇所一覧表

番号	工 種	写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度	
37	舗装復旧工 (表層工)	舗設状況 タックコート・プライム コート散布状況	施工延長400mごとに1回	下水道工事の復旧に適用する。
38	立坑工 (鋼矢板) (軽量鋼矢板) (H鋼杭)	設置・撤去状況 施工機械・機種	立坑ごとに1回	
39	立坑工 (ライナープレート式 土留工)	設置・撤去状況 施工機械・機種	立坑ごとに1回	
40	立坑工 (鋼製ケーシング式土 留工)	設置状況 施工機械・機種	立坑ごとに1回	
41	立坑工 (支保工)	設置・撤去状況	立坑ごとに1回	
42	立坑土工	掘削状況 掘削機械・機種 底版コンクリート打設状況 埋戻状況	立坑ごとに1回	

施工状況写真撮影箇所一覧表

番号	工 種	写真管理項目		摘 要
		撮影項目	撮影頻度	
43	仮設工 (覆工)	設置・撤去状況	全数	
44	仮設工 (仮締切工)	設置前 施工中 取除後	全数	
45	仮設工 (防護工)	設置前 施工中 取除後	全数	吊り防護、受け防護

**. 出来形成果表**

硬質塩化ビニル管布設日常管理表			工事名					No.	
区間番号	No. ~ No.	延長	L = . m		測定者		平成 年 月 日		
距離	K.B.M	B.S	I.H	F.S	管径	施工高	計画高	差	備考
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	
	.	.	.	.	.	.	.	.	

# 硬質塩化ビニル管布設日常管理表

工事名

代理人

主任

No. ~ No.

作成者

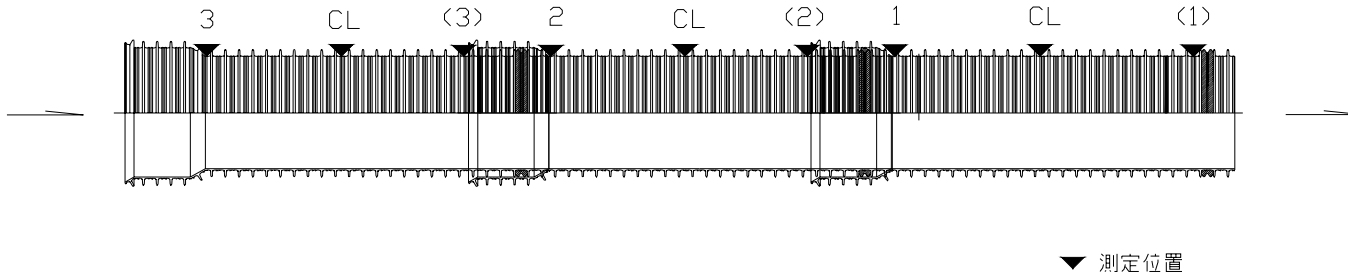
印

No.

+30mm	No. 人孔												
	+20mm												
+10mm													
± 0mm													
-10mm													
-20mm													
-30mm													
差													
実測管底高													
計画管底高													
測点													



リブ付硬質塩化ビニル管布設日常管理表			工事名		No.1	
区間番号	No. ~ No.	延長	L = 0.00 m	測定者	平成 年 月 日	

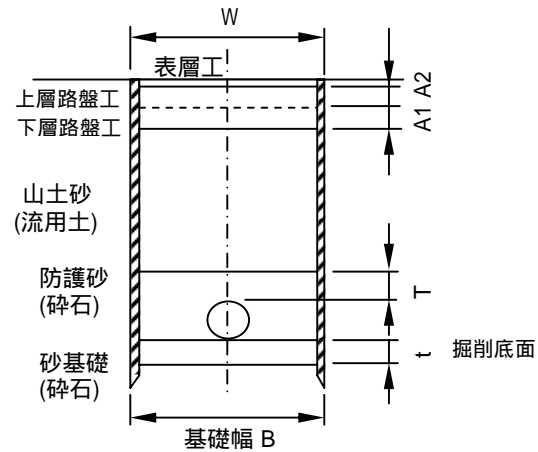


測点	距離	管径	KBM	BS	IH	管セット時				1層目埋戻転圧後				備考
						FS	計画	施工	差	FS	計画	施工	差	
(1)														
CL														
1														
(2)														
CL														
2														
(3)														
CL														
3														

リブ付硬質塩化ビニル管布設日常管理表				工事名				代理人				主任										
No.		~ No.		作成者				No.														
+30mm +20mm +10mm ± 0mm -10mm -20mm -30mm	No.1人孔 (1)		CL	1	CL	2	CL	3	CL	4	CL	5	CL	6	CL	7	CL	8	CL	No.2人孔 9		
差																						
実測管底高																						
計画管底高																						
測 点																						

上記測点における実測管底高、計画管底高の値は「管理表その1(1層目埋戻転圧後)」の値を記入する。

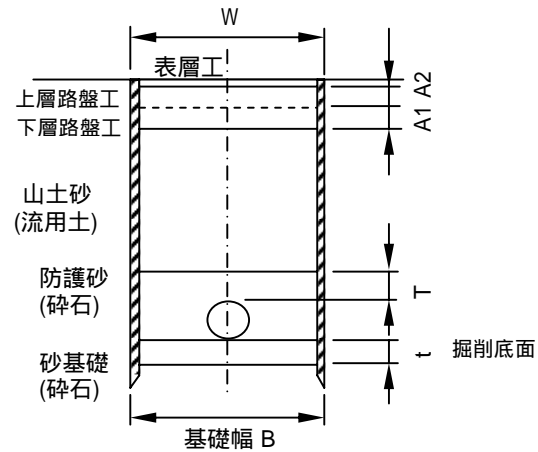
<b>開削土工出来形成果表</b>				工事名						
平成 年 月 日	請負人			測定者	印	作成者				印



( ) 規格値

測 点	掘削底面高 (±30)			掘削幅 W (±50)			基礎厚 t (-30)			基礎幅 B (-50)			管防護厚 T (-30)									
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
~																						
~																						
~																						
~																						
~																						
~																						
~																						
~																						
~																						
~																						

<b>開削土工出来形成果表</b>				工事名						
平成 年 月 日	請負人			測定者	印	作成者				印



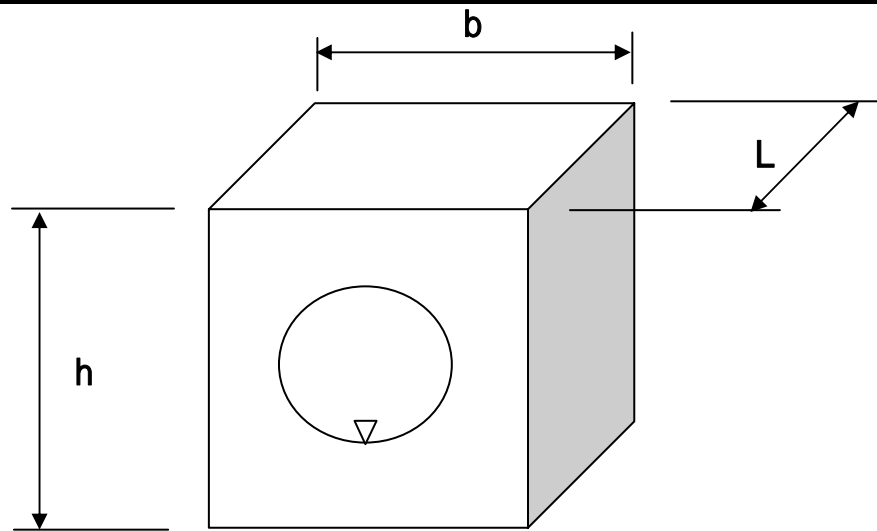
( ) 規格値

測 点	下層路盤幅 (-50)			下層路盤厚 (-45)			上層路盤幅 (-50)			上層路盤厚 (-25)			表層厚 (-7)			表層幅 (-25)						
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
~																						
~																						
~																						
~																						
~																						
~																						
~																						
~																						
~																						
~																						

推進工法出来形成果表										No.	~ No.	工事名	平成 年 月 日				作成者氏名				印																	
横断方向	30 mm																																					
	15																																					
縦断方向	15																																					
	30 mm																																					
	50 mm																																					
	40																																					
	30																																					
	20																																					
	10																																					
	±																																					
推進力	10																																					
	20																																					
	30																																					
	40																																					
4000 kN	50 mm																																					
	3000																																					
	2000																																					
	1000																																					
月 日																																						
本 数 (本)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35			
延 数 (m)																																						
ジャッキ圧(kN/m <sup>2</sup> )																																						
ジャッキ本数																																						
推進力(t)																																						
土 質																																						
滑材注入量(L)																																						

小口径推進出来形成果表		No. ~ No.	工事名	平成 年 月 日				作成者氏名	印
推進延長	. m	管 径	mm	管底深さ	. m	勾 配	/	使用機種	
推進長累計 (m)									
推進管 No.									
推進力 (KN)									
垂直方向	ターゲットの読み								
	傾き (傾斜計)								
	位 置	+ 30							
		+ 20							
		+ 10							
		0							
		- 10							
		- 20							
	- 30								
	修正ジャッキ作動								
水平方向	ターゲットの読み								
	位 置	左30							
		左20							
		左10							
		0							
		右10							
		右20							
左30									
修正ジャッキ作動									
注入量									
掘削ズリ質									
土 量									

<b>空伏工出来形成果表</b>				<b>工事名</b>			
平成	年	月	日	請負人	測定者		作成者



( )規格値

測定箇所		基準高 (±50)			幅b (-30)			高さh (-30)			中心のずれ(±50)			延長(-50)			勾配(±20%)			備考
測点	位置	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
No.	上流側																			
	下流側																			
No.	上流側																			
	下流側																			
No.	上流側																			
	下流側																			
No.	上流側																			
	下流側																			

### 管渠及びマンホール出来形成果表

区 間	延 長			マンホール 番 号	地 盤 高		管 底 高				マンホール深		備 考
	設計	m	差		m	差	流入側	差	流出側	差		差	
	実測	m	± 200		m	± 30mm	m	± 30mm (± 50mm)	m	± 30mm (± 50mm)	m	-	
	設計												
	実測												
	設計												
	実測												
	設計												
	実測												
	設計												
	実測												
	設計												
	実測												
	設計												
	実測												
	設計												
	実測												

( )内は推進工に適用する。



# 一次覆工出来形成果表

工事番号 \_\_\_\_\_  
 工事名 \_\_\_\_\_

請負人 \_\_\_\_\_  
 現場代理人 \_\_\_\_\_ (印)

No.

リング No.	基準高 (規格値: ±50)			中心線の変位 (規格値: ±100)		セグメント真円度						備 考	
	設計値 (m)	実測値 (m)	差 (mm)	実測値(mm)		垂直方向			水平方向				
				右(+)	左(-)	設計値 (mm)	実測値 (mm)	差 (mm)	設計値 (mm)	実測値 (mm)	差 (mm)		



### 二次覆工出来形成果表(基準高、勾配、仕上がり内径)

工事番号 \_\_\_\_\_  
 工事名 \_\_\_\_\_

請負人 \_\_\_\_\_  
 現場代理人 \_\_\_\_\_ (印)

No.

打設No. 又は 測点	追加 延長 (m)	基準高 (規格値: ±20)			勾配 (規格値: ±20%)	仕上がり内径 (規格値: ±20)				備考
		設計値 (m)	実測値 (m)	差 (mm)		垂直方向		水平方向		
					計算値 (/1000)	実測値 (mm)	差 (mm)	実測値 (mm)	差 (mm)	

# 二次覆工出来形成果表(二次覆工厚)

工事番号 \_\_\_\_\_  
 工事名 \_\_\_\_\_

請負人 \_\_\_\_\_  
 現場代理人 \_\_\_\_\_ (印)

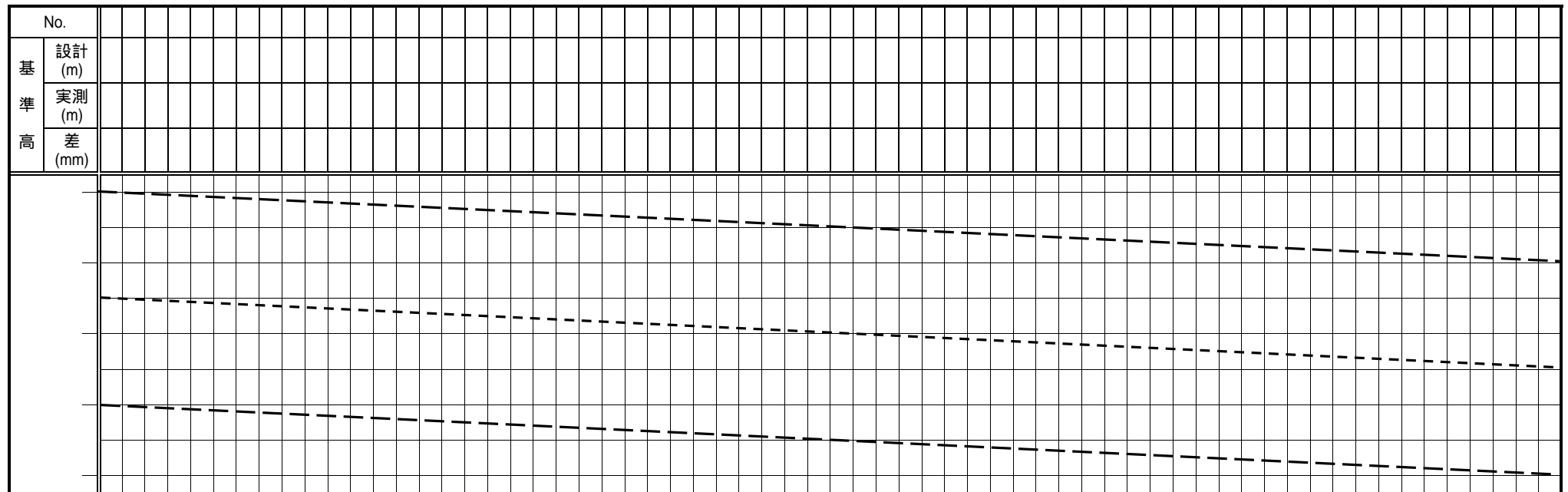
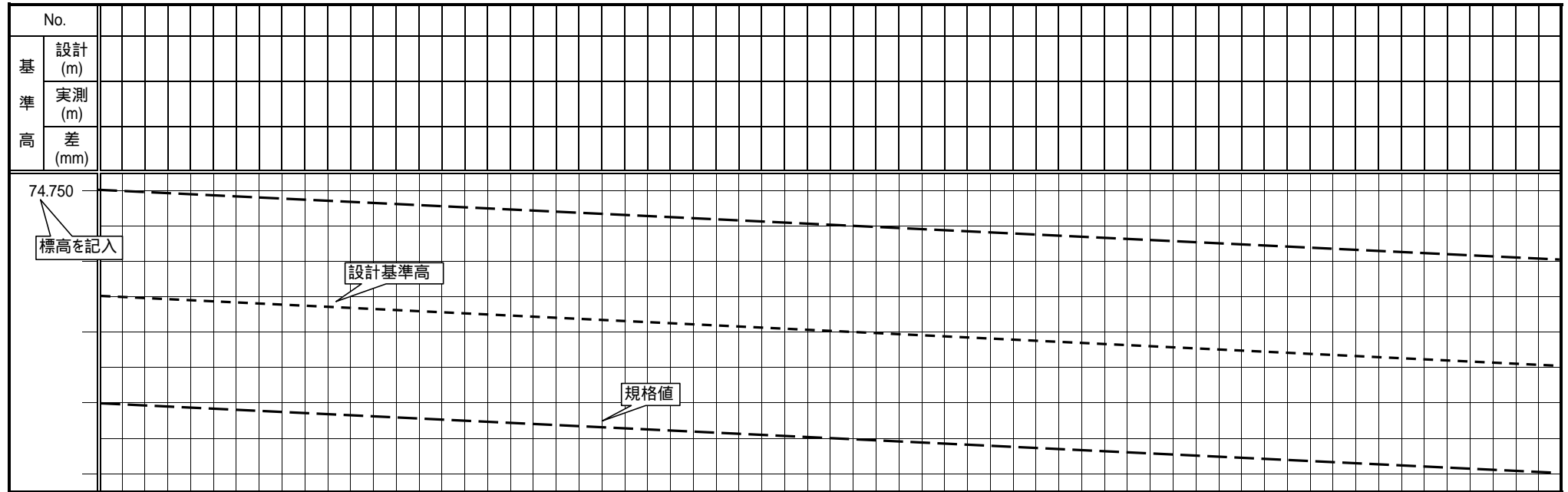
No.

No.	二次覆工厚 (規格値: ±20)												備 考
	上			下			左			右			
	設計値 (mm)	実測値 (mm)	差 (mm)	設計値 (mm)	実測値 (mm)	差 (mm)	設計値 (mm)	実測値 (mm)	差 (mm)	設計値 (mm)	実測値 (mm)	差 (mm)	

# 二次覆工出来形管理図

工事番号 \_\_\_\_\_  
 工事名 \_\_\_\_\_

請負人 \_\_\_\_\_  
 現場代理人 \_\_\_\_\_ (印)



### FRPM二次覆工出来形成果表(継手間隔、基準高)

工事番号 \_\_\_\_\_  
 工事名 \_\_\_\_\_

請負人 \_\_\_\_\_  
 現場代理人 \_\_\_\_\_ 印

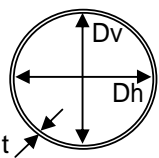
FRPM管 管理No 又は 設計測点	管有効長 (m)	直・曲 区分	継 手 間 隔 (mm)					追加延長 (管有効長 + 継手間隔) (m)	基 準 高 規格値 ± 20mm			備考
			規格値 ・直線部 _____ mm						設計値 (m)	実測値 (m)	差 (mm)	
			・曲線部 _____ mm									
			管頂	管底	管左	管右	平均値					

**FRPM二次覆工出来形成果表(たわみ率)**

工事番号 \_\_\_\_\_  
 工事名 \_\_\_\_\_

請負人 \_\_\_\_\_  
 現場代理人 \_\_\_\_\_ 印

FRPM管 管理No	たわみ率 規格値 ±5%												備考	
	管据付時 (接合完了後)						中込材 注入後							
	縦Dv (mm)	縦 X (mm)	たわみ率 (%)	横Dh (mm)	横 X (mm)	たわみ率 (%)	縦Dv (mm)	縦 X (mm)	たわみ率 (%)	横Dh (mm)	横 X (mm)	たわみ率 (%)		



たわみ率 =  $X / 2R \times 100(\%)$   
 $X = [2R - (Dh+t)]$  又は  $[2R - (Dv+t)]$   
 2R : 管厚中心直径 \_\_\_\_\_ mm  
 t : 管厚 \_\_\_\_\_ mm

<b>標準マンホール出来形成果表(第      号マンホール)</b>	<b>工事名</b>	
-------------------------------------	------------	--

平成   年   月   日	請負人		測定者		印	作成者		印
----------------	-----	--	-----	--	---	-----	--	---

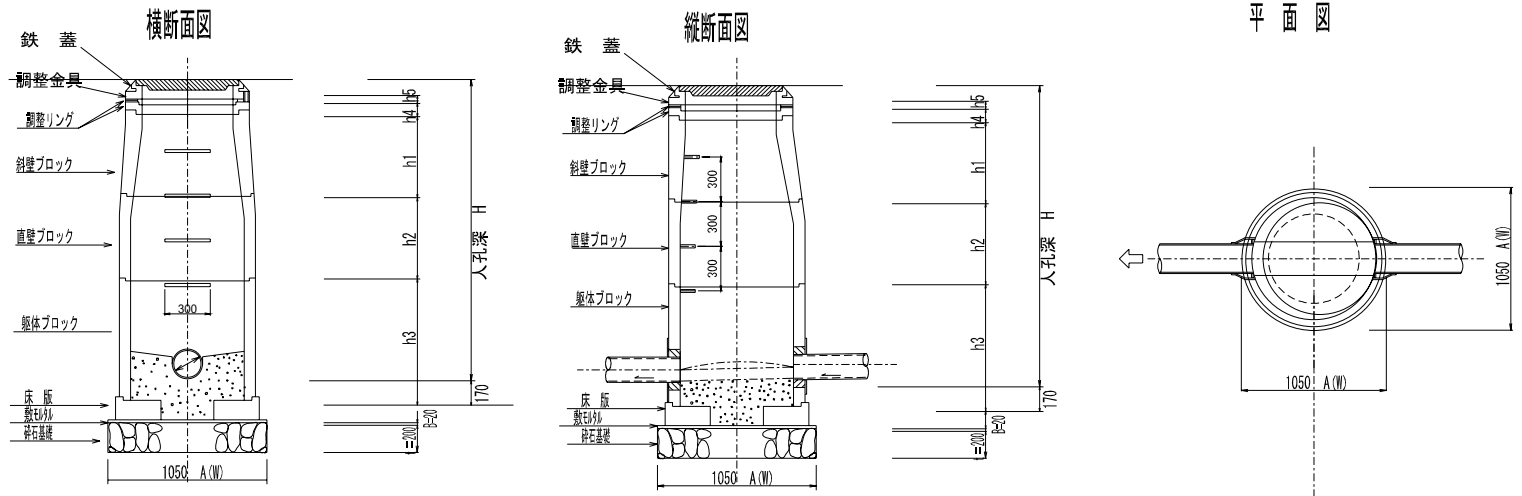
(      ) 規格値

人 孔 番 号	人孔天端基準高 (±30)			管底基準高 (±30)			幅b(内法)(-30)			壁厚:(-20)			基礎基準高 (±30)			床掘深H(±30)			基礎工幅B(-50)			基礎工高h(-30)			調整工
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実施値	差	設計値	実施値	差	設計値	実測値	差	設計値	実施値	差	設計値	実施値	差	設計値	実施値	差	測定値



組立マンホール出来形成果表(0号)				工事名			
平成 年 月 日		請負人		測定者		作成者	

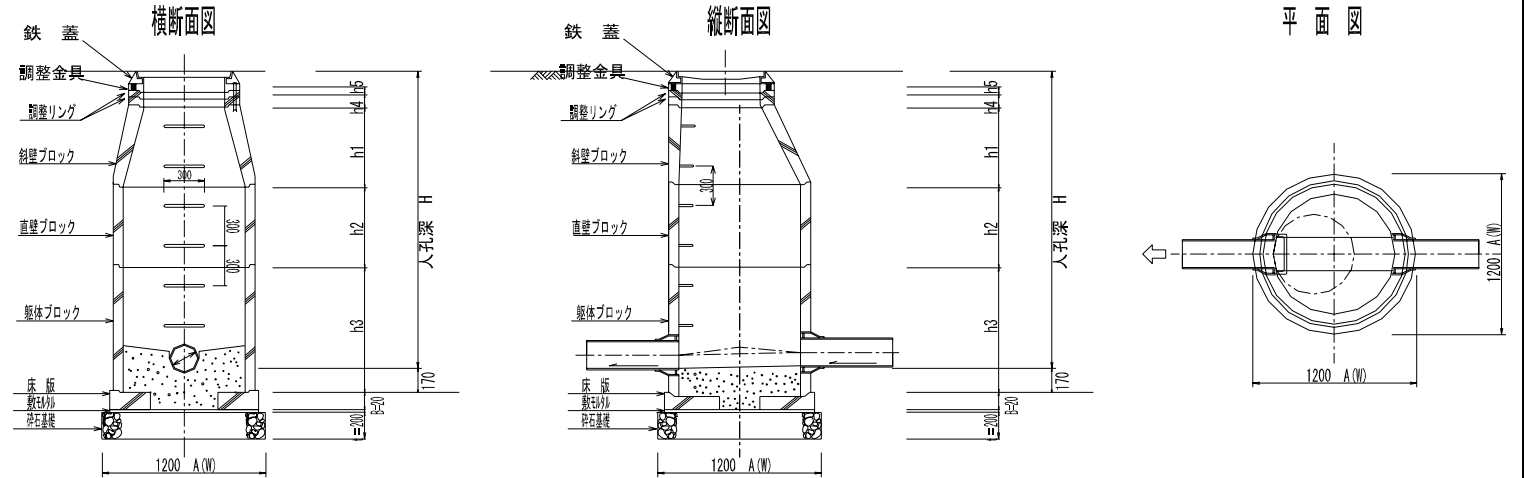
( ) 規格値



人孔番 号	人孔深 H			斜壁高 h1	直壁高 h2	躯体高 h3	調整リング h4	調整リング h5	ブロック高 h	調整高	底版	敷モルタル (-0) 厚 B = 20		敷モルタル (-50) 幅 A = 1,050		基礎厚 (-30) t=200		基礎幅 (-50) W=1,050			
	設計値	実測値	差	実施	実施	実施	実施	実施	実施			実測値	差	実測値	差	実測値	差	実測値	差		

<b>組立マンホール出来形成果表(1号)</b>					<b>工事名</b>					
平成	年	月	日	請負人	測定者					作成者

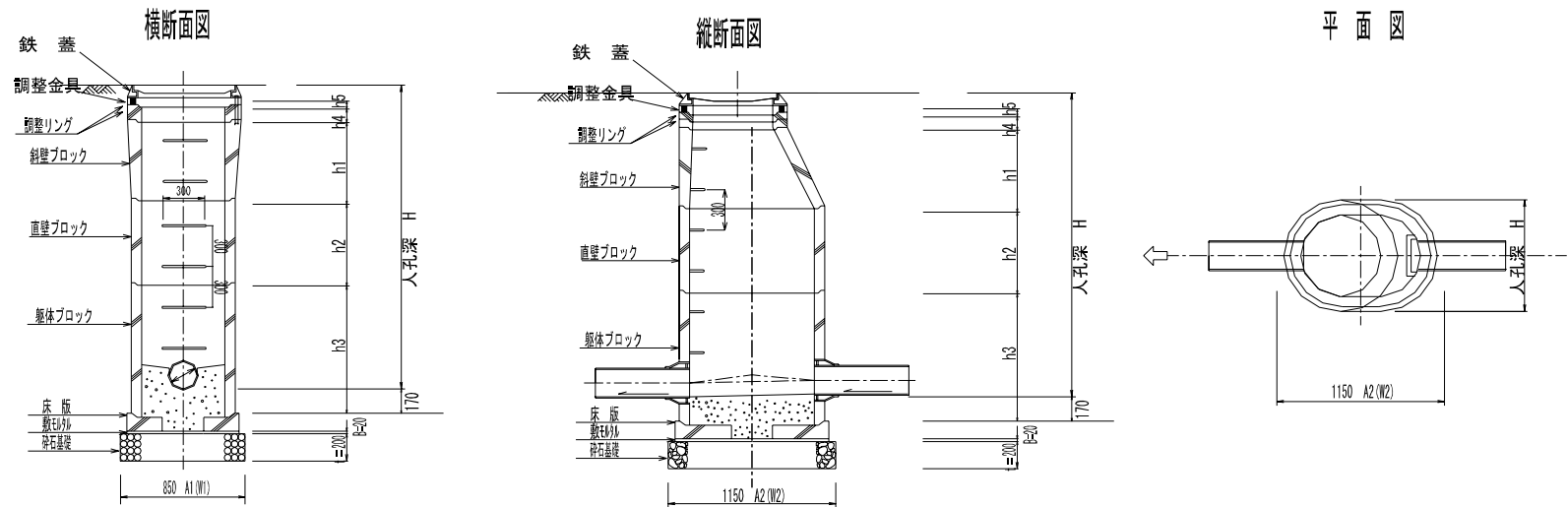
( ) 規格値



人 番	孔 号	人孔深 H			斜壁高 h1	直壁高 h2	躯体高 h3	調整リング h4	調整リング h5	ブロック高 h	調整高	底版	敷モルタル (-0) 厚 B = 20		敷モルタル (-50) 幅 A = 1,200		基礎厚 (-30) t=200		基礎幅 (-50) W=1,200		
		設計値	実測値	差	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実測値	差	実測値	差	実測値	差	実測値	差	

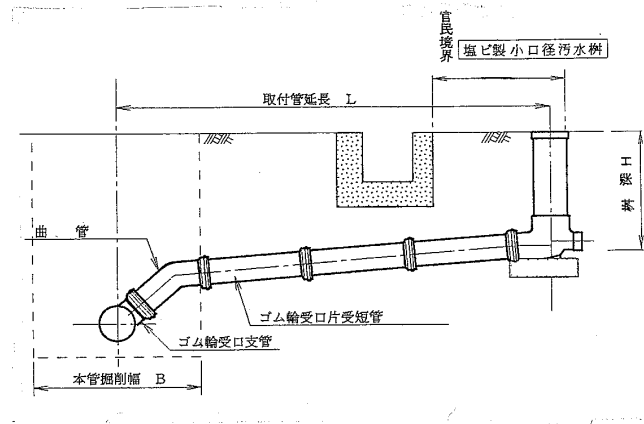
組立マンホール出来形成果表(楕円)				工事名	
平成 年 月 日	請 負 人			測 定 者	作 成 者

( ) 規格値



人 番	孔 号	人孔深 H			斜壁高 h1	直壁高 h2	躯体高 h3	調整リング h4	調整リング h5	ブロック高 h	調整高	底版	敷モルタル (-0) 厚 B = 20		敷モルタル (-50) 幅 A1 = 1,050		敷モルタル (-50) 幅 A2 = 1,050		基礎厚 (-30) t=200		基礎幅 (-50) W1=1,050		基礎幅 (-50) W2=1,050	
		設計値	実測値	差									実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施	実施

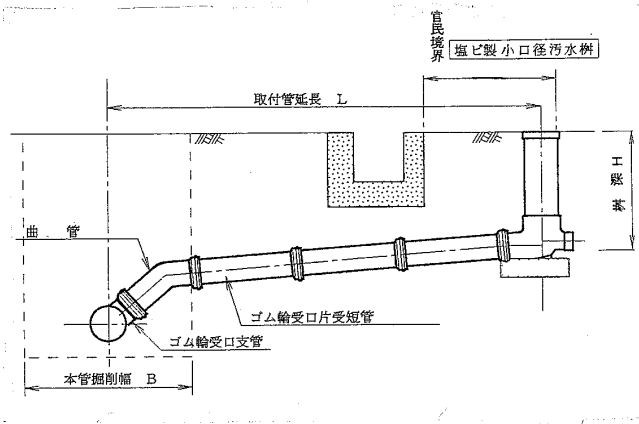
<b>汚水ます及び取付管出来形成果表(1・3方向流入型)</b>			工事名		
平成 年 月 日	請負人		測定者		作成者



( )規格値

設置宅名	住 所	汚水桝有効深 (-30)			汚水桝種別			取付管種別			取付管延長 L (-200)			掘削幅 (±50)			砂基礎厚 (-30)			防護砂厚 (-30)			
		設計値	実測値	差	200	300		150		設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差		

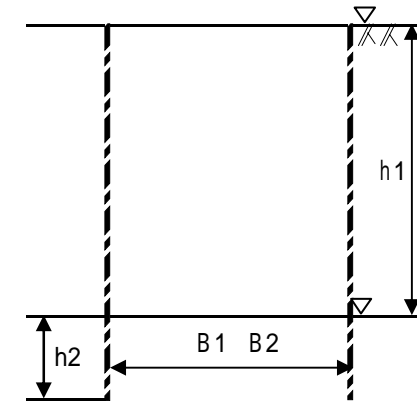
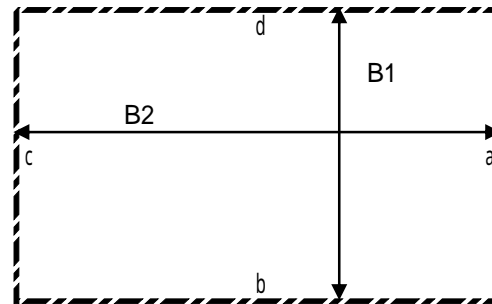
<b>汚水ます及び取付管出来形成果表(流入自在型)</b>			工事名	
平成 年 月 日	請負人		測定者	作成者



( )規格値

設置宅名	住 所	汚水枘有効深 (-30)			汚水枘種別			取付管種別			取付管延長 L (-200)			掘削幅 (±50)			砂基礎厚 (-30)			防護砂厚 (-30)				
		設計値	実測値	差	200	300		150			設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差		

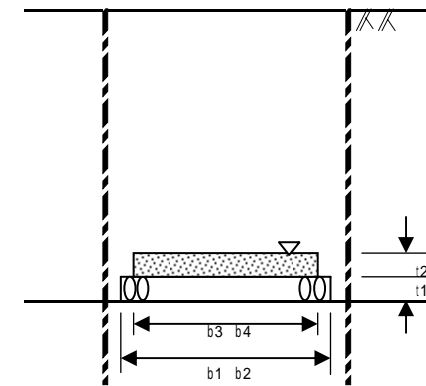
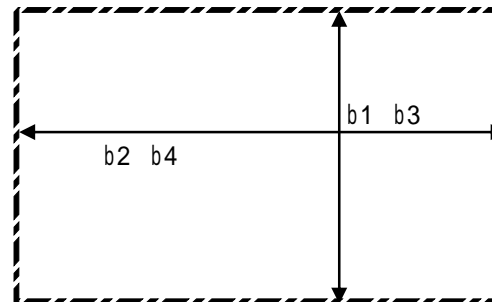
<b>鋼矢板立坑出来形成果表</b>				工事名				
平成	年	月	日	請負人	測定者	印	作成者	印



( ) 規格値  
掘削深は、4隅と中央の平均  
根入長さは、1辺に1回

測点	地盤高			掘削底面基準高 (±30)			掘削深 h1 (±30)			掘削幅 B1 (±100)			掘削幅 B2 (±100)			根入長 h2 (-50)		
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
~ 平均																		
B1																		
B2																		
a																		
b																		
c																		
d																		

<b>鋼矢板立坑出来形成果表</b>				工事名				
平成 年 月 日	請負人			測定者	印	作成者		印



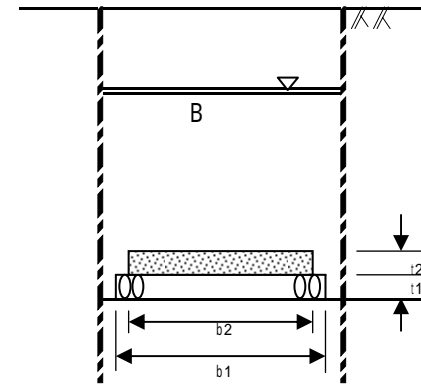
( ) 規格値  
 底板コンクリート天端高は、4隅と中央の平均

測点	砕石基礎幅 b1 (-50)			砕石基礎幅 b2 (-50)			砕石基礎厚 t1 (-30)			底板コンクリート天端高 (±30)			底板コンクリート幅 b3 (-30)			底板コンクリート幅 b4 (-30)			底板コンクリート厚 t2 (-10)			
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
b1																						
b2																						
t1																						
~ 平均																						
b3																						
b4																						
t2																						

<b>鋼矢板立坑出来形成果表</b>				工事名				
平成	年	月	日	請負人	測定者	印	作成者	印

( ) 規格値

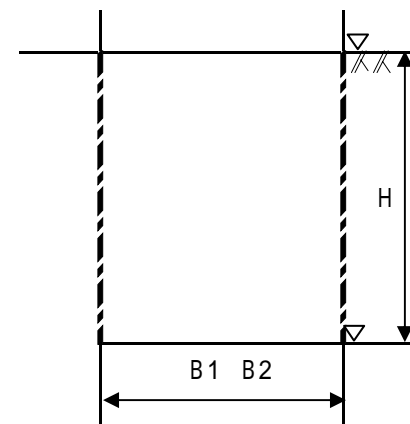
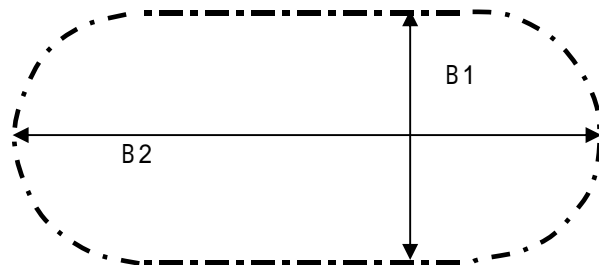
支保高は、ブラケット高さ4点以上測定し支点位置算出、各部材長さは実測する。



測点	1段目支保高(±100)			2段目支保高(±100)			3段目支保高(±100)			部材長B(±100)									
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	



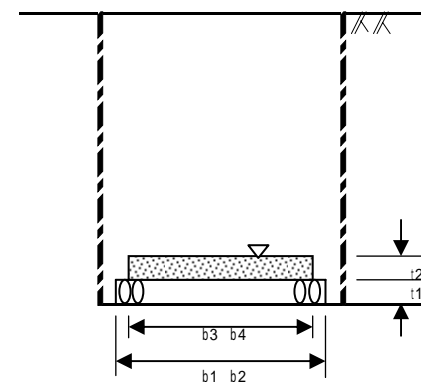
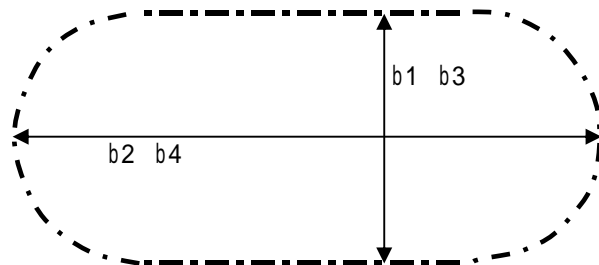
<b>ライナプレート式立坑出来形成果表</b>				工事名				
平成	年	月	日	請負人	測定者	印	作成者	印



( ) 規格値  
掘削深は、4隅と中央の平均

測点	地盤高			掘削底面基準高			掘削深 H (±30)			掘削幅 B1 (±100)			掘削幅 B2 (±100)			設計値実測値差			設計値実測値差			
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
~ 平均																						
B1																						
B2																						

<b>ライナプレート式立坑出来形成果表</b>				工事名				
平成	年	月	日	請負人	測定者	印	作成者	印

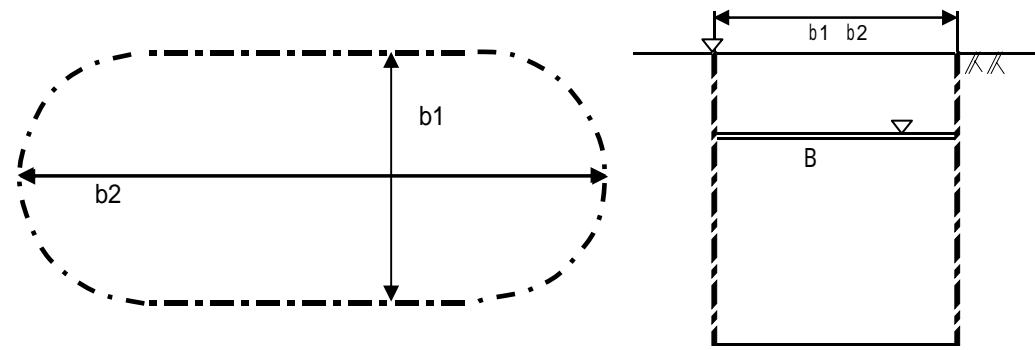


( ) 規格値

底版コンクリート天端は4隅と中央の平均

測点	碎石基礎幅 b1 (-50)			碎石基礎幅 b2 (-50)			碎石基礎厚 t1 (-30)			底版コンクリート天端 (±10)			底版コンクリート幅 b3 (-30)			底版コンクリート幅 b4 (-30)			底版コンクリート厚 t2 (-10)			
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	
b1																						
b2																						
t1																						
~ 平均																						
b3																						
b4																						
t2																						

<b>ライナプレート式立坑出来形成果表</b>				工事名				
平成	年	月	日	請負人	測定者	印	作成者	印



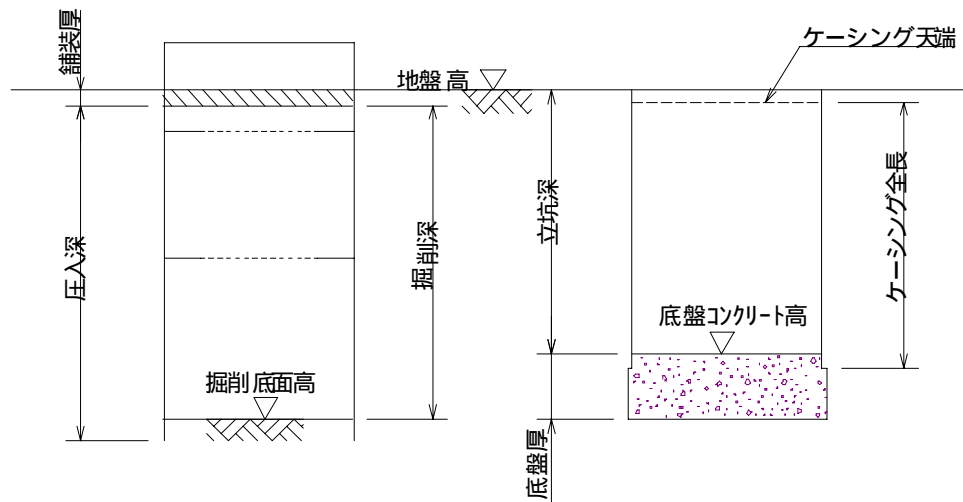
( ) 規格値

ライナプレート天端は4隅の平均

支保高は、ブラケット高さ4点以上測定し支点位置算出、各部材長さは実測する。

測点	ライナプレート天端 (±50)			ライナプレート幅b1 (±100)			ライナプレート幅b2 (±100)			支保高 (±100)			土留工部材長 B (±100)		
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
~ 平均															
b1															
b2															
B															

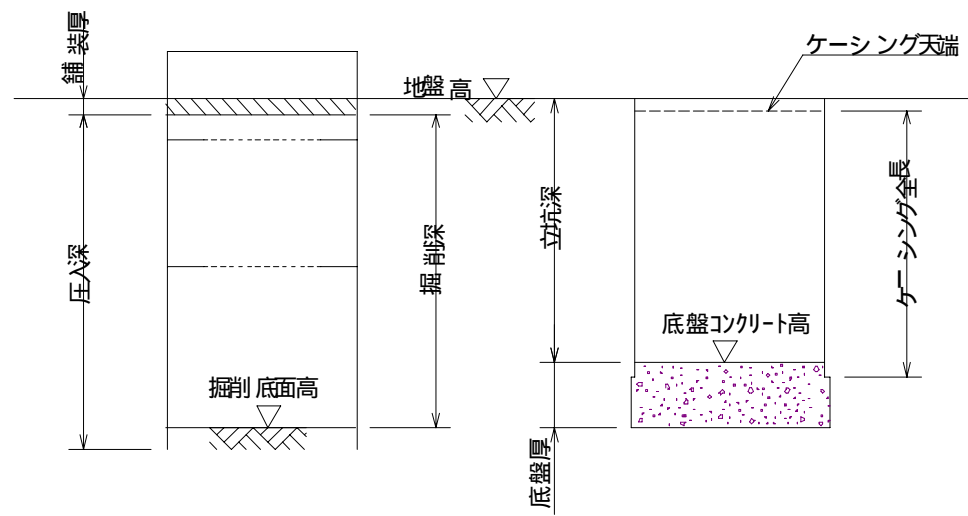
<b>鋼製ケーシング式立坑出来形成果表</b>				工事名			
平成	年	月	日	請負人	測定者	作成者	



口径 mm  
厚み mm  
( ) 規格値

測 点	地 盤 高			掘削底面基準高 (±30)			掘 削 深 (±30)			立 坑 深			圧 入 深		
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差

<b>鋼製ケーシング式立坑出来形成果表</b>				工事名			
平成	年	月	日	請負人	測定者	作成者	



口径 mm  
 厚み mm  
 ( ) 規格値

測点	ケーシング全長 (- 0)			底盤コンクリート基準高 (± 30)			底盤厚 (- 10)			設計値	実測値	差	設計値	実測値	差
	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差	設計値	実測値	差						

## **. 施工管理資料**

<b>工事材料品質証明書類一覧</b>		
<b>硬質塩化ビニル管(リブ付硬質塩化ビニル管含む)</b>		
1	構造図	
2	管製品試験成績表(引張・偏平・負圧・耐薬品製・ピカット軟化温度)試験	
3	継手ゴム試験成績表(かたさ・引張試験・伸び・永久伸び・ 圧縮永久歪・老化試験)	JIS K6301 適合
4	その他	
<b>鉄筋コンクリート管</b>		
1	概要、試験項目、方法、日時、調査者、結果一覧	
2	骨材のふるい分け試験 JIS A1102	
3	単位容積重量試験 JIS A1104	
4	比重・吸水率試験 JIS A1110	
5	骨材のすりへり試験 JIS A1121	
6	その他	
<b>レディーミクストコンクリート</b>		
1	日本工業規格表示許可証の写し	
2	レディーミクストコンクリート配合報告書	
3	レディーミクストコンクリート配合設計計算書	
4	セメント試験成績表	
5	骨材試験成績表	
6	その他	
<b>砂</b>		
1	概要、試験項目、方法、日時、調査者、結果一覧	
2	粒度試験 JIS A1102	
3	洗い試験 JIS A1103	
4	単位容積重量試験 JIS A1104	
5	有機不純物試験 JIS A1105	
6	比重・吸水率試験 JIS A1109	
7	その他	
<b>山砂・細砂・粗砂・再生コンクリート砂</b>		
1	概要、試験項目、方法、日時、調査者、結果一覧	
2	土粒子の比重試験 JIS A1102	
3	土の含水量試験 JIS A1103	
4	土の粒度試験 JIS A1204	
5	液性限界・塑性限界試験 JIS A1205	
6	土の締め固め試験 JIS A1210	突固めによる室内試験
7	CBR試験(乱した土) JIS A1211	室内試験
8	土の透水試験(変水位) JIS A1218	必要に応じて
9	その他	

<b>山土砂</b>		
1	概要、試験項目、方法、日時、調査者、結果一覧	
2	単位容積重量試験 JIS A1104	
3	土粒子の比重試験 JIS A1102	
4	液性限界・塑性限界試験 JIS A1205	
5	土の締め固め試験 JIS A1210	
6	路床土CBR試験 JIS A1211	
7	土の粒度試験 JIS A1204	
8	土の含水比試験 JIS A1203	
<b>流用土</b>		
1	締め固めた土のコーン指数試験 JIS A1228	
2	設計CBR試験 JIS A1211	
3	その他	
<b>栗石(割栗石)</b>		
1	概要、試験項目、方法、日時、調査者、結果一覧	
2	骨材のふるい分け試験 JIS A1102	
3	単位容積重量試験 JIS A1104	
4	比重・吸水率試験 JIS A1110	
5	骨材のすりへり試験 JIS A1121	
6	その他	
<b>路盤材及び基礎砕石(C-30、C-40、RC-30、RC-40、M-30)</b>		
1	概要、試験項目、方法、日時、調査者、結果一覧	
2	骨材のふるい分け試験 JIS A1102	
3	単位容積重量試験 JIS A1104	
4	比重・吸水率試験 JIS A1110	
5	骨材のすりへり試験 JIS A1121	
6	液性限界・塑性限界試験 JIS A1205	
7	土の締め固め試験 JIS A1210	突固めによる室内試験
8	路床土CBR試験 JIS A1211	室内試験
9	その他	
<b>溶融スラグ入り再生砕石</b>		
1	修正CBR試験	舗装試験法便覧参照
2	土の液性限界・塑性限界試験方法 JIS A1205	
3	粗骨材のすりへり試験方法 JIS A1121	
4	骨材のふるい分け試験方法 JIS A1102	



<b>組立マンホールコンクリート部材(各種)</b>		
1	日本工業規格表示許可書の写し	
2	構造図	
3	セメント試験成績表	
4	骨材試験成績表	
5	骨材のアルカリシリカ反応試験成績表	
6	コンクリート示法配合表、圧縮強度試験成績表	
7	普通鉄線検査成績表	
8	マンホール用付属部品寸法図等	
9	シール材、緊結材、ブーツ、試験成績表	
10	その他	
<b>マンホールふた・足掛金物</b>		
1	構造図	
2	製品、材質試験	
3	性能試験成績表	性能規定書による
4	その他	
<b>汚水ます(各種)</b>		
1	構造図(寸法図)	
2	試験成績表(引張・偏平・負圧・耐薬品製・ヒカト軟化温度)試験	塩ビ製品
3	その他	
<b>舗装用合材、乳剤</b>		
1	概要、試験項目、方法、日時、調査者、結果一覧	
2	アスファルトコンクリート材料試験	
3	コールドピン骨材試験	
4	混合物の理論最大密度計算書	
5	アスファルト合材配合試験	
6	その他	
<b>鋼管(推進用、ディープウェル)</b>		
1	日本工業規格表示許可書の写し	
2	鋼材検査証明書(ミルシート)	
3	その他(カタログ)	
<b>鋼材(鋼矢板、ライナープレート等)</b>		
1	日本工業規格表示許可書の写し	
2	鋼材検査証明書(ミルシート)	
3	構造図	
4	構造計算書	
5	その他(カタログ)	

<b>仮設鋼材(鋼矢板、支保工、覆工等)</b>		
1	鋼材検査証明書(ミルシート)	
2	構造図	
3	構造計算書	
4	その他(カタログ)	
<b>薬液注入工(現場注入試験)</b>		
1	注入試験目的	
2	注入試験内容	
3	注入試験箇所(範囲)	
4	流入試験測定項目 (ゲルタイム、注入圧、注入時間、単位吐出量、P - Q管理図、 注入有効範囲、ゲル化の状態)	
5	水質試験、土質試験(必要に応じ)	
6	その他	
<b>薬液注入工(施工計画)</b>		
1	薬液注入工の目的	
2	環境調査と対策(水質監視計画)	
3	使用薬液の種類と成分(品質証明添付)	
4	注入範囲と注入間隔(計画図添付)	
5	施工数量	
6	注入方法(現場配合、使用機器、ゲルタイム、注入順序)	
7	施工管理(品質、数量、ゲルタイム、配合試験、注入圧、注入量の管理)	
8	発生土、泥土の処分方法及び排水等の処理方法	
9	材料の搬入保管と発生材料の処分方法	
10	実施工程表	
11	注入工事の責任者(注入工事の経歴)	
12	調査工事(特に指定のある場合)	
13	観測井の設置	
14	その他	
<b>各種注入材(ベントナイトモルタル、裏込注入材、滑材、泥水材、薬注材)</b>		
1	試験成績表	
2	標準配合表	
3	標準溶液の性質	
4	安全性	
5	その他	

<b>家屋調査工</b>		
1	家屋調査目的	
2	家屋調査内容	
3	家屋調査区域(範囲)	
4	家屋調査項目	
5	写真撮影要領	
6	その他	
<b>発生土処分地、産業廃棄物処分地</b>		
1	位置図(運搬経路記載)	
2	処理委託契約書・処分業・運搬業許可書	
3	周辺の土地利用(井戸、農地、養漁池等)	
4	安全管理(土砂の流出、水質検査、交通等)	
5	その他	



## 施工計画書記載事項一覧

添付書類名 (試験、検査結果表)		摘要
1	工事概要	
2	実施工程表(ネットワーク、出来高予定)	
3	稼働日数	
4	労務計画	
5	現場組織表	
6	主要機械	
7	主要資材	
8	施工方法	
9	技術管理	
10	出来形管理計画表	
11	品質管理計画表	
12	写真管理計画表	
13	緊急時の対策	
14	交通管理(交通処理計画)	
15	安全管理	
16	仮設備計画	
17	環境対策	
18	家屋調査	
19	発生土処分地、産業廃棄物処分地(許可書、契約書含む)	
20	再生資源利用促進計画書	
21	その他(監督員の指示による)	

検査書類一覧		
書類名	提出	摘要
<b>日報・記録・調査</b>		
1	工事日報・安全日報	
2	推進工事日報	
3	薬液注入工事日報(チャート紙)・調書	
4	地盤変動チェック日報・調書	
5	地下水位観測記録・調書	
6	井戸及び水質調査(事前・事後)・調書	
7	揚水運転管理日報・調書	
8	可燃ガス測定記録	
9	その他	
<b>使用材料集計表</b>		
1	硬質塩化ビニール管(リブ管含む) 入荷・設計数量対比一覧表	納品書添付
2	鉄筋コンクリート管	〃
3	レディーミクスト・コンクリート	〃
4	砂	〃
5	山砂・砕砂・粗砂・再生コンクリート砂	〃
6	山土砂	〃
7	栗石(割栗石)	〃
8	砕石(基礎・防護・路盤材)	〃
9	マンホール(鉄蓋・各種)	〃
10	汚水柵	〃
11	鋼管(推進用・ディープウエル・ウエルポイント)	ミルシート、納品書
12	足掛け金物	納品書添付
13	舗装用合材	〃
14	鋼 矢 板 搬 入 ・ 搬 出 入荷・設計数量対比一覧表	納品書添付
15	支保工材(鋼材)搬入・搬出	〃
16	覆工版・受桁 搬入・搬出	〃
17	鋼材(鉄筋・ライナープレート等)	ミルシート・納品書
18	その他	

出来形管理		
1	平面・縦断・横断出来形図、同調書	設計と対比
2	管布設基礎工、埋め戻し工出来形図、同調書	〃
3	マンホール出来形図、同調書(シュミット測定含む)	〃
4	汚水柵出来形図、同調書	
5	推進工出来形図、同調書	設計と対比
6	道路復旧工(舗装)出来形図、同調書	コア採取 〃
7	付帯工(道路・河川構造物出来形図、同調書)	
8	その他	
品質管理		
1	管布設工日常管理表(縦断・延長)	
2	推進工日常管理表(縦断・延長・法線・土質)	
3	コンクリート圧縮強度等試験一覧表	
4	使用材料寸法検査表	
5	現場密度試験結果成績表	
6	その他	
工程管理		
1	全体工程表(計画と実績の対比)	
2	月間工程表(計画と実績の対比)	
3	週間工程表	監督員の指示のあった場合
その他		
1	工事写真(写真説明図添付)	
2	工事施工計画書	
3	工事施工承諾願い	
4	工事使用材料関係書類	
5	試掘、他占用物件調査計画書・結果報告書	
6	他占用物件管理者との協議書	
7	家屋事前・事後調査報告書	所有者の確認
8	発生土処分地、産業廃棄物処分地(許可書、契約書含む)	
9	マニフェストD票写し	
10	竣工図(図面冊子、マイクロフィルム等)	
11	特記事項処理状況報告書	
12	その他	

<b>参 考</b>			
<b>立坑関係調書</b>			
1	矢板支保工数量調書		納入伝票
2	ライナープレート数量(ミルシート添付)		
3	覆工版、受桁		納入伝票
<b>薬注関係調書</b>			
1	資材納入伝票		
2	注入日報、チャート紙		
3	注入実施一覧表(設計対比)		
<b>ディープウェル関係調書</b>			
1	鋼管調書(ミルシート、納入伝票)		
2	ストレーナ加工調書・伝票		
3	埋め戻し材納入伝票		
4	ジャミ砂納入伝票		





# 資材入荷集計表

工事名					
種別				作成者	印
番号	入荷日	数量	番号	入荷日	数量
1			21		
2			22		
3			23		
4			24		
5			25		
6			26		
7			27		
8			28		
9			29		
10			30		
11			31		
12			32		
13			33		
14			34		
15			35		
16			36		
17			37		
18			38		
19			39		
20			40		

# 資材検収表

工事名					
種 別				作成者	印
回	確認日	数 量	累加数量	摘 要	確認者
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
合 計					
備 考					

薬液注入工施工管理資料(実施集計表)											注入方式			注入材料				代理人		主任		
											<input type="checkbox"/>	二重管単相式	<input type="checkbox"/>	二重管複相式	<input type="checkbox"/>	アルカリ系	<input type="checkbox"/>	中・酸性系	<input type="checkbox"/>	無機系	<input type="checkbox"/>	有機系
工事名											作成者		印									
当初設計総量(kl)			実施総量(kl)					差 (kl)														
月 日	注入孔(本)			注入量(kl)				材料品名: (kl)					材料品名: (kl)									
				種別			累計	入荷		使用量		残	入荷		使用量		残	入荷		使用量		残
	注入箇所	日計	累計	ショート	ロング	計		日計	累計	日計	累計		日計	累計	日計	累計		日計	累計	日計	累計	
合 計																						

薬液注入工施工管理資料(実施一覧表)				注入方式			注入材料			代理人		主任							
														<input type="checkbox"/>	二重管単相式	<input checked="" type="checkbox"/>	アルカリ系	<input type="checkbox"/>	中・酸性系
														<input checked="" type="checkbox"/>	二重管複相式	<input checked="" type="checkbox"/>	無機系	<input type="checkbox"/>	有機系
<input type="checkbox"/>	ダブルパッカー式	<input type="checkbox"/>	懸濁型	<input type="checkbox"/>	溶液型														
工事名																			
当初設計総量(kl)		実施総量(kl)			差 (kl)			作成者		印									
注 入 箇 所	当初設計数量(kl) A			計画数量(kl)			実施数量(kl) B			差 (A - B)	摘 要								
	ショート	ロング	合 計	ショート	ロング	合 計	ショート	ロング	合 計										
合 計																			

# 注 入 日 報 ( / )

番号: \_\_\_\_\_

(平成 年 月 日) 天候:

工事名: \_\_\_\_\_

注入方式	<input checked="" type="checkbox"/>	二重管単相式	注入材料	<input checked="" type="checkbox"/>	アルカリ系	<input type="checkbox"/>	中・酸性系
	<input checked="" type="checkbox"/>	二重管複相式		<input checked="" type="checkbox"/>	無機系	<input checked="" type="checkbox"/>	有機系
	<input type="checkbox"/>	ダブルバッカ-式		<input checked="" type="checkbox"/>	懸濁型	<input type="checkbox"/>	溶液型

作成者	印	

施 工 箇 所	注入孔 No.	注入深度 (区間) GL - m	ステ ップ 数	記録計 機番 No.	チャート No.	注 入 量 ( )		記 事	勤務体制						
						種 別			注 入 量 計	作 業 時 間	開 始		終 了		
						シ ョ ー ト	ロ ン グ				時	時	時	時	時
														注 入 機 器 (セ ッ ト 数)	時
									の ゲ ル 測 タ イ 定 ム	注 入 材 料 / 時 刻					
									特 記 事 項						
日 計															
累 計															

【 進捗率:            % 】 【 設計注入量:        kl 】 【 実施設計量:        kl 】	水ガラス管理表 (単位: kg/)				硬化剤管理表 (単位: kg/)					
		入荷量	使用量	残量						
		入荷量	使用量	残量	入荷量	使用量	残量	入荷量	使用量	残量
	日 計									
累 計										

薬液注入工施工管理資料(水質監視記録)

工事名							
月 日	観測井戸	採取時種別	検査機関	水 質	水 位	摘 要	

平成	年	月	日	<b>水位監視日報</b>			代理人	主任
工事名								
天候			気温					
請負人						作成者	印	
観測井戸 No.	注入孔からの距離	採取時の種別 (工事前、中、後)	水質測定者	水 質	水 位	備 考		
記 事								



ウェルポイント運転日報			平成 年 月 日				工事名				作成氏名者		印				
ポ ン プ 運 転 時 間											時間	天候	気温	水温	雨量		
事項		時刻	0	3	6	9	12	15	19	21			0時～6時				mm
1	ヒューガルポンプ	排水量L/min											6時～12時				
1	バキュームポンプ	吸圧mm/Hg											12時～18時				
2	ヒューガルポンプ	排水量L/min											18時～24時				
2	バキュームポンプ	吸圧mm/Hg											動力	電力	KHW		
3	ヒューガルポンプ	排水量L/min										その他					
3	バキュームポンプ	吸圧mm/Hg															
4	ヒューガルポンプ	排水量L/min															
4	バキュームポンプ	吸圧mm/Hg															
地下水位 観測		1															
		2															
		3															
		4															
基準 T P												労力	技術者			人	
													運転士			人	
														従業員			人
														計			人
記事(事故その他)												責任者		印			

## ・その他資料

# 日本下水道協会認定工場製品等一覧

(認定工場製品等は、2009年4月現在の材料)

	日本下水道協会・認定資機材名	規格番号	認定年月日
1	下水道用鉄筋コンクリート管	JSWAS A-1	2003.2
2	下水道推進工法用鉄筋コンクリート管	JSWAS A-2	1999.11
3	下水道シールド工用鋼製セグメント	JSWAS A-3	2001.7
4	下水道シールド工用コンクリート系セグメント	JSWAS A-4	2001.7
5	下水道用鉄筋コンクリート卵形管	JSWAS A-5	1985.7
6	下水道小口径管推進工法用鉄筋コンクリート管	JSWAS A-6	2000.12
7	下水道ミニシールド工法用鉄筋コンクリートセグメント	JSWAS A-7	2005.4
8	下水道推進工法用ガラス繊維鉄筋コンクリート管	JSWAS A-8	2009.3
9	下水道用台付鉄筋コンクリート管	JSWAS A-9	2006.5
10	下水道用鉄筋コンクリート製小型組立マンホール	JSWAS A-10	2006.11
11	下水道用鉄筋コンクリート製組立マンホール	JSWAS A-11	2005.4
12	下水道用硬質塩化ビニル管	JSWAS K-1	2002.7
13	下水道用強化プラスチック複合管	JSWAS K-2	2000.5
14	下水道用硬質塩化ビニル卵形管	JSWAS K-3	1984.10
15	下水道推進工法用硬質塩化ビニル管	JSWAS K-6	2009.3
16	下水道用硬質塩化ビニル製ます	JSWAS K-7	2008.1
17	下水道用ポリプロピレン製ます	JSWAS K-8	2008.1
18	下水道用硬質塩化ビニル製小型マンホール	JSWAS K-9	2008.1
19	下水道用レジンコンクリート製マンホール	JSWAS K-10	2008.1
20	下水道用レジンコンクリート管	JSWAS K-11	1998.10
21	下水道推進工法用レジンコンクリート管	JSWAS K-12	2001.11
22	下水道用リブ付硬質塩化ビニル管	JSWAS K-13	2003.2
23	下水道用ポリエチレン管	JSWAS K-14	2000.12
24	下水道用リブ付ポリエチレン管	JSWAS K-15	2001.5
25	下水道内挿用強化プラスチック複合管	JSWAS K-16	2004.1
26	下水道用硬質塩化ビニル製リブ付小型マンホール	JSWAS K-17	2009.3
27	下水道用ダクティル鑄鉄管	JSWAS G-1	2003.2
28	下水道推進工法用ダクティル鑄鉄管	JSWAS G-2	1999.4
29	下水道用鑄鉄製防護ふた	JSWAS G-3	2005.7
30	下水道用鑄鉄製マンホールふた	JSWAS G-4	2009.3
31	強化プラスチック複合管	JIS A5350	2006.7
32	プレキャスト鉄筋コンクリート製品	JIS A5372	2004.3
33	プレキャストプレストレストコンクリート製品	JIS A5373	2004.3
34	硬質ポリ塩化ビニル管	JIS K6741	2007.3
35	水輸送用塗覆装鋼管	JIS G3443	2007.2
36	水輸送用塗覆装鋼管異形管	JIS G3451	2007.2
37	配管用炭素鋼管	JIS G3452	2004.3
38	ダクティル鑄鉄管	JIS G5526	1998.11
39	ダクティル鑄鉄異形管	JIS G5527	1998.11